諸家系譜

位三

た

田中

太政官文庫
和書門
類 三三二四九
號
函
架
冊 二二五

共二百廿五内

内閣文庫
和書
類 三三二四九
號
冊 二二五
函 一五六
架 一七

共八十五

内閣文庫
番號	和 32649
冊數	225（138）
函號	156 23

国立公文書館
National Archives of Japan

五之丁目組
松平甚三郎支配

清和源氏
里見 常陸

□ 堀田忠六郎

○

家譜

寛
御小性組松平豊前守組
関甲一郎左衛門

大 源

源姓　田中

幕之紋　桔梗丸　三頭左巴
家之紋　桔梗丸　三頭左巴
替紋　丸花

先祖三州苔生之[illegible]國将中納言贈従一位左大臣義光
後裔道光入居宗光三州苔将苔生邑ニ雇任三方田
一方川有之謂人稱田中一圓茲以田中為氏
初名　後一斎某　不知

義元

明應年中

親忠　権之丞

左衛門
後某之承不知　某[illegible]祥[illegible]代[illegible]来
某[illegible]同姓之　田中[illegible]知之　左衛門　某[illegible]源姓[illegible]中[illegible]
享禄四年辛卯年三月四日卒葬三州某一向宗

清[illegible]某不知号安　利浄尼

末廣

清五郎　某[illegible]

母　某　不知

信吾様
清康様
廣忠様

御三代之　奉仕　天文四乙未年

清康様三州　大樹寺之　境内[illegible]之[illegible]

天文五丙申年[illegible]卒　歳不知　葬[illegible]

義綱

義綱道[illegible]

彦十郎　某[illegible]

母　某女

云壽

源姓 田中

幕之紋 桂木瓜
家之紋 三頭左巴
替紋 桂木瓜
三ツ木瓜 花

先祖三州管生之所々国府中納言勝俊一位左大臣義光後裔道光入道宗光三州岩津居住之権従三方田一方川有之後人称田中 因茲改田中為氏

初代 後一帝応奥 不知

義元 下

親忠様之代 岳浅井之承不知 安祥城代長房来

明應年中

安祥能之 田中之那之 岳 源能頭宮中像

享禄巳年卯年三月日卒 葬三州岩津一向宗

隅猪不知号 安利浄元

末広 彦治郎 常庵

母 不知

信忠様 清康様 広忠様

御三代之 奉仕 天文巳乙未年

清康様三州森山之城而御生害之時

天文五二年丑年八月三日卒 其後不知 葬同所号

義綱道楼

義綱 彦十郎 母 不知

安寿

天文七戊戌年八月十六日生 三州萩生村

祐存ハ実ハ河内ノ[illegible]一向宗

陣頭ニ宅ハ萬寿 和田義[illegible]在岡崎御知行[illegible]

中[illegible]元亀二年 未年十二月五日 病卒

法名[illegible]常道[illegible]

義忠

彦四郎

萩生村一向宗[illegible]

取刑[illegible]元亀二

壬申年[illegible]

義忠

彦四郎 [illegible]

母 家女

妻 杉本[illegible]女

天文二十三癸丑年十一月二十三日生 同國

元亀二年 未年十二月五日[illegible]討死ニ付

一子[illegible]

他[illegible]

[illegible]

[illegible]十九[illegible]

一[illegible]前三[illegible]

[illegible]十八

[illegible]年[illegible]

同所於御鷹野之節御前ニ被召出依之
被仰付同十申年御供仕候後病気ニ付
隠居料三百石被下之慶長二十乙卯年六月十一日於江戸卒年
歳六十三 葬同所 法号宗流道寿

忠勝
初 与五郎 一本作
母 杉本右衛門兵衛女
妻
年月日不知生國松
台徳院様御代元和元乙卯年八月 又兵衛跡目
御書院番 御小姓組 (?)

大猷院様御代寛永九壬申年八月廿八日初而御目見 十七
歳 慶安年中御先手鉄砲頭 高二千
二百石余 寛文二寅年二月十六日
卒 歳 葬麹町浄土宗栖岸院 号
来誉浄春

義次
初 彦三郎 早世
母 同上

神尾年月不知 女
神尾市郎兵衛妻 後離別 後又ゐ 同じ
同人養女 御目 家組

長正
母
十左衛門
祖父 杉本右衛門兵衛

忠清　母　同上　水戸殿ニ仕ル

勝以（モチ）　初小十郎　一郎兵衛　後一郎右衛門

母　某女　野間半三郎定次女
寿　水野前紀

後相模半信又定次方ヘ取房ニ

年月日不知生江戸　寛永十六己卯年月日不知死

属役々

大御番勤仕

清月又金馬代奉上　寛文二庚　寛永年　八月十五日

浦月継目清次九年月日不知　正保三丁卯年六月十日

浦姓経明々浅間又相勤経寛永年下ニ丁酉年

八月十七日辞　不知　甚日不知　遂寿経寛永先伯

勝平　三之丞

明暦三丁酉年十二月十七日死　勝以養子

某　八十郎　早世

女子　早世

母　同上

勝平　初三之丞　後三郎右衛門

母　某女

寿　某氏

年月日不知

寛文経依御代明下三丁酉年十二月十七日　一千石

跡目継目御礼金馬代差上之年月不知 ［illegible］
二己未年七月十八日出生 ［illegible］ 三拾歳之時天和
二壬戌年十二月十七日卒 歳不知 葬所同所浄山院
照誉寿恩閑

忠理

初 常吉 一五郎 ［illegible］

母 某

妻 某 ［illegible］

武晴 左五郎 ［illegible］

年月日不知生ル

常憲院様御代天和二壬戌年十二月十六日父跡目相続被仰付
出羽守殿ヲ以 跡目御礼金馬代差上之 年月 ［illegible］

同貞享五戊辰年五月廿三日 ［illegible］ 十月
廿六日御番入 ［illegible］ 年二月
十二日御小性組 ［illegible］ 年
遠州甲州之内五百石 ［illegible］ 武州多摩郡 ［illegible］ 村
［illegible］ 年中遠州甲州之内五百石 ［illegible］
［illegible］ 村 ［illegible］ 己丑年
十月廿三日 ［illegible］ 七 ［illegible］ 年
［illegible］ 金 ［illegible］
正徳二壬辰年六月廿一日卒 歳不知 葬所同前
嶽雲院 ［illegible］

某

勝芳（ヨシ）

宝暦■年生　号運■白■

母　某女

初助三郎　求馬　一郎右衛門　内記

妻

実父　百人組　中根■■■■■組

実女　大目付　神山伊豆守■■■女

妻　養父　忠■■女

後妻　■■■■■　■■■■■■之女

後妻　桐■■■■　石川■■■■■■女

元禄八乙亥年四月■■生　宝永三丙戌年

十月廿七日■■■■■■遠■正徳二壬辰年

八月廿七日■■■■■■■■■■■■年十二月十六日

継目御礼■■■■■享保■■■年十月■■■

■■■■■■■■入■■■■■■■■■■年■■月■■

御■■■■■■■■年二月■■■■■■■■年

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■■年十一月■■一■■■家

■■■■■■■■■■■■■年■■月■■■■■■■■

■■■■■■■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■■年七月十■■■年七十■■

■■■■■■■■■■■■■■■■

女子

母

■■■■■■■■■■■■書

某女

某　母伊織某女　早世　享保七壬寅年七月十三日卒七歳　号高岸院浄室信女

某　母絲之助同上　早世

女子　母同上　早世

女子　母同上　早世

女子　母同上　早世

末吉　初世芳量　初称甚五郎　一郎右衛門

云喜母　貞光　長谷川半兵衛娘

實父　西郷生　酒井三左衛門大沢女

實母　大目付　木下伊賀守信名養女

妻

後妻　号眉　岡田丹後守信推女

享保十八癸丑年四月十二日於江戸家督相続

男子無之実弟市郎兵衛養子　寛保四甲子年二月

廿六日部屋住之節　御目見　寛延元戊辰年月廿六日

御目見　鉄砲組頭　寛延二己巳年九月

廿八日御役御免　百俵二而御書院番

御目見　明和二乙酉年二月十六日

小普請入　戊子年十月十六日　寛政三年

十月廿六日　御番入　安永八己亥年二月廿八日御役御免

同日兄之遺跡　継父之家禄百石余ニ加ヘ門六十石

寿年二月廿九日　継家気形之通　御免　天明元丑年

十二月廿八日再勤　同六丙午年八月十九日

逆算表寄合乱心目付之　歳四十七　葬同所

号浄山獄院空誉［illegible］居士

緒輝

母　丞馬

母　東下伊勢守某女

明和八辛卯年七月十九日卒　法名［illegible］葬同寺

号順孝院輝光和映

勝豊

初名　三之丞　一亦之丞

母　実父　［illegible］

実父　櫻井［illegible］男

実母　［illegible］嫡　長門守［illegible］女

妻　某父　一［illegible］某女

後妻　［illegible］松平［illegible］宗［illegible］女

後妻　［illegible］細井［illegible］女

宝暦七丁丑年正月十二日生江戸

松平［illegible］養子

天明三癸卯年四月二日初［illegible］

父之［illegible］逆算［illegible］乱心［illegible］

六丙午年八月十九日［illegible］

天明元 私ニ而 菊之助 相続之儀
小笠原佐渡守殿支配 同年十二月 継目
御礼相済 同七丁未年 宗門改 御役相勤
当入用 根本 記 寛政八丙辰年十二月
養父 ... 病死

養女
実 ... 利慶女

義晩
母 末吉養女 早世

養子
実 ... 大久保 ... 女

右之通 御座候以上

高 ... 三河

寛政十一己未年十月

田中一斎 (花押)

未十一月六日
堀田豊後守殿

系譜

平氏
寿房　堀田豊前守
書

た
同八月十二日　深
平形

中奥小姓組
堀田豊後守殿
田中捨次郎

平氏
先祖之苗氏

渋谷　後改田中

渋谷氏ヲ名乗稜又ニ稜又十郎

渋谷伊勢守
武綱之次男稜又次郎

信濃守殿下ニ御奉公之嫡孫稜又

三郎　重国孫　舎之　於軍

頼朝卿之御代始而於讃岐国ニ採用

候ニ渋谷之段申ニ已来代々渋谷を

苗氏ニ住来而渋谷掛居

御当家ニ而　百姓ニ而

より先祖苗氏を田中ニ改メ段ニ渋

代々田中ニ而家ニ而在田中之段ニ

頼遠ニ書氏ニ而向編中　御事ニ

取分ケ申上ル

幕之紋　丸三ノ羽

家之紋　別軒子

替紋　右三ツ巴

渋谷兵庫之国来孫

重行 ―― 荒人

実名ニ利不知

重範　初名 省安　但馬守

生年月日不知
足利将軍光源院義輝公ニ奉仕
昵近之士格人充ニ而武奉之勤
勤之叙旧不知天正之時分ニ者
義輝公ゟ蒙シラヘと名許シニ
其後義輝公御落去之後利鑿仕
京都ニ而出家致し名ヲ昼斎遁
剃髪法橋ニ任叙候

天正十二甲申年二月九日卒　行年八十六歳
葬于京頂妙寺　法号不知

宗運　法眼

生年月日不知
父省安之業ヲ継京都ニ医ヲ為林常ト云
御醫ニ被召出勤之段五勲依之
法眼ニ任叙候
天正十七己丑年十一月十六日卒　年不知
葬于同寺　法号不知

常安　法橋

生年月日不知
父宗運之家を継法橋ニ叙在住候
慶長二十乙卯年四月廿八日卒　年不知

紀伊守

実名不知
生年月日不知
父常安之家督を継其居宅ニ住居仕
京都油小路通り小川西側ニ相廻ニ候

大坂御陣ニ付此所町人共頭立候
者共ニ集会有之能登守ニ而
右紀伊守何方ニ住へ候ニ受取住居候
得不知
寛永二十一甲申年四月廿八日卒年不知
葬所不知　号　真常院道運

掃部　二十五　九郎右衛門

紀伊守同居致在住候之処一条通ニ有之
生年月日不知

杉浦 右平太

母 不知

妻 不知

生年月日 不知

元禄五壬申年七月廿日

常憲院様江

右翁 御目見仕候 部屋住ニ而御番

於御花 御弁当 御年中之日 御番衆江

下候 是又 苗氏 田中ニ 相改 下候

平蔵 之左 百 石 俵 被下 置 候

書院 御付

同七甲戌年十二月廿七日 御番入

御付也 足米百石 被下候 都合三百

俵 御廊下江

同九丙子年十一月廿五日 御番入 御付

同十丁丑年四月十一日 加増三百俵

都合六百石 地方ニ被下 相模国大住郡

ニ而 御加増 御付 御割

御書 被ニ 御年寄 御付

元禄十四辛巳年十二月十八日 御廊下番

組頭江 御付

右同役相勤候内親兄名跡之内江承

願置候御役候 年月日不知

同十七壬午年七月廿五日西丸御納戸組 御付

右相勤候内御役御免被仰付候得共先年

願候之義相煩之先住之内御届

宝永六己丑年

御地界有之一同小普請中川伊豆守組入

享保二丁酉年六月廿六日死

江戸谷中正寺江葬候 [illegible] 御日記

某 十六 某 [illegible]

元禄二己巳年生 所不知

母 不知

妻 某女

享保二丁酉年十一月二十日父死年未相知

小普請中川伊豆守組江入

未月日不知 組頭 [illegible] 御札 [illegible] 御殿

寛保三癸亥年十月十九日一ツ橋御殿

勤番江 御付

延享二乙丑年正月廿四日大勤番一同祥

年月日系譜焼失ニ而相知不申候

元 百五拾石 相續

享保年中御右筆新番組頭被仰付候

延享四丁卯年十一月廿八日死 五十九

葬所同寺 法號玄覧宗観居士

杉雅 小源次

生母 家女

実父 四代目 石原某 政久三男

実母 松平遠江守侍 石原佐左衛門重之女

長女 田中甚兵衛 杉養女

妻

享保十丁巳年八月廿二日 續〔?〕ニ解

幼名某 縁組之節 [illegible]

延享四丁卯年四月十五日死 二十三

葬所同寺 法號某 宗閑[illegible]

女子 母家女

長子 田中小源次杉雅妻

女子 母同上

出羽国佐田郡 立花萬十郎妻

石原 [illegible] 離別 [illegible]

関[illegible] 佃典 長[illegible]

女子　母泉女

新川為
門井七十郎妻

杉郎　初號 実暁
三三郎

母
実森本某女
田中十左衛門林養女

妻
石原伊左衛門政忠女
不孝候ニ付 安永三甲午年十月
廿四日離別候

元文五庚申年二月二十日生江府

延享四丁卯年四月廿五日父小浜信政
病死ニ付
同年六月十五日嫡孫承祖 御目見番入
御奏者番殿ニ而仰渡
寛延元戊辰年三月廿二日継父家督御目
松平右京大夫殿於御宅被仰渡小普請組竹中
周防守支配ニ入
同年同月廿日御目見仕候 但為御礼献上
明和九壬辰年二月廿九日大番衆被仰付
新番組頭衆長谷川某組
同七乙未年十二月十五日小普請組支配

安政二乙卯隠居　同日家督相続
同六丁巳年十一月二日剃髪改　宝暁
養孫龍治郎扶助

杉斎

初　忠治郎　早逝

兄杉郎某子之所成請来之者也

真　早世

初　元治郎

母　石原伊兵衛養女

明和七庚寅年六月五日生於江府

安永三甲午年十一月十九日死　五歳

杉斎

葉林日等　号端元節信

初　虎治郎　早逝

養母　石原伊兵衛養女

実父　田中源次杉能次男

実母　同中市兵衛某女

妻　四郎兵衛　大木氏親徳女

天明六丙午年十二月六日死

定享文八日辰年十二月廿日生於江府

天保六乙未年四月九日　貴文三二三年小笠

従石河[illegible]安政二年[illegible]

養子御願之通 田沼主殿頭殿被仰渡候

同年十二月十二日始而御目見仕、御小書院

ニ而御老中列座之入

安永五丙申年十二月廿六日於御黒書院中奥

御小姓組ニ被入 田沼主殿頭殿被仰渡候

同年八月廿二日依願之御乳付御方様江被遣之

同七戊戌年十二月廿二日於新番所番頭被仰付

新番頭所御役儀差支ニ付御番外ニ被仰出

先年之者 御役儀差支ニ付 御封之 御役方

隠居願之通被仰付候

同八己亥年四月十六日卒 [illegible]

孝恭院様薨去御候後 御側衆勤仕中同様被仰渡

天明元辛丑年十二月廿六日 御書院番頭 田沼主殿頭殿被仰渡

於御前於大奥 御目見 宅被仰渡候

浚明院様薨去御後候

大納言様御部屋ニ被為在 御役 御続之 一統

右ニ付名目御役ニ被仰付 此之役

右御役宅被仰渡候

天明七丁未年七月十二日卒 四十歳

葬所同寺 号法華院殿源 日映

杉長

庄五郎
甚兵衛杉爲養子ニ成諸事ニ書ス

某

早世 金治郎

母
河野氏
大森長左衛門親福女

天明元辛丑年二月十六日生 江府
同二壬寅年五月十二日死
葬下同寺
一号知覺了晴

杉長

甚兵衛

庄五郎

實父 田中三之丞杉郎次男

實母 家女
酒井雅樂頭家來
沢治郎右衛門嘉紀女

安永八己亥年四月十二日生 江府
天明七丁未年七月十日冒家ニ長青し
德右衛門養願
同年十一月廿八日跡目牧野備後守殿被仰付
小普請坪内勘五郎支配ニ入
同年十二月十三日継目御礼於菊之間御目見
同八戊申年月日大目付森川出羽守組

同白國口番浦賀取次御北條組當分
同振田組ニ並新三郎一橋御小門番
浦賀取次小普請組坪内勘郎之死
同年太郎御通橋御同浦賀取次
太三郎拾射習取早北条ト一橋御小
門番ニ並新三郎ト御通橋御同浦賀取次
同年太郎ニ同白國奥取次
同年四月二六日取通奥番ニ坪井ニ
寛政十四年年四月ト七日死二十
葬谷同寺
号厚信院安居田探

女子
小普請組松平保之助之死
河合猪之助某妻

母
大番組秋継女

女子
正門

柳光
孫作郎
生母
深津平太幸純女
実父
大番組頭石原某ノ武将
實母
家女
妻
同組大宮郎柳長女

天明四甲辰年七月朔日生 江府
寛政十四年十月廿六日父捨五郎家督之儀
惣領子細同戸田家士之願以継目小普
請堀田之極之祝之相願
同年十二月廿一日継目御礼申上御代官之

小普請堀田之極之祝
田中捨次郎妹之妻
酒井甚右衛門女

女子
母
同三郎
某
母同

右之通相違無之

高三百石五拾俵

本国 尾張
生国 武蔵

御目見 以上
同白国同居

初年 寄判

小普請組内藤組
伯父 桜井七左衛門

寛政十一己未年

田中捨次郎

十二

五月十日
御数寄屋頭衆へ

前書之
三百俵高之
坂田貞之助

茶湯

清水御殿 数寄屋
た 茶之坊主湯之
こしらへ

西丸御小性組
御数寄屋組
田中久兵衛

橘

田中

藤左衛門　左三包

藤十郎　同断

藤兵衛　同断

藤次郎

高七九ヶ村之内新貫七九ヶ村

敏達帝十四代後胤井手左大臣橘諸兄苗流江州住士田中

伊香郡高月領田中村ニ住居仕候田中ヲ称号トス一子

田中惣左衛門ト云浅井備前守長政ニ仕ヘ後ニ別而橘ニ居

従弟之長政被討死後

吉政

久次　久兵衛　兵部少輔　筑後守

従五位下侍従

母

江州住人

関友右衛門女

妻

天文十七年生　同人女

一子田中久兵衛云初稚ニテ伯母聟同国住人関友

右衛門ト云者ニ被養育ス

三好孫七郎秀次ニ仕ヘ

八幡山城築之時信長

十年信長薨之後

吉祥坊　羽柴

秀次之附人

慶長十六子年

十月三州岩崎郷之内七十九貫之所並に総代年
依秀吉命同國知立ニ被籠此所ニ三万石有之
秀吉之朱印ト下之所々信
一万石九十万石秀吉之朱印下之所々信帰
慶長元申年七月
津守… 古也
國仮字 年号…

龍光寺…一人…御…持
究…御…之…猶
若…御…信…
三月廿二日
秀村(花押)
同年…家

補右

許書写 是ハ三州知立大明神…

生白鳥送候
候…猶
猶…候…
中…候…
…候…
十一月三日 (花押)
同年…候

慶長八子年之…候…
奥州…長…信…
茶…野村…三成

補忘

通りニ而首尾能有之候ニ付同出小山迄ハ陣所ニ於ゐ
殿様御鉄炮頭大瀬又兵衛御通ニ付云々ニ而別書
ニ控ニ而長坂出雲守頭取之筆木曾同所ニ而候ニ付左ニ
御先手相勤候御番頭内藤別々 御鉄炮頭大瀬御使を
遣ニ付後藤江ニ氏家御使を以御申越 併其江御馬
廻組ハ御先手候而茂而右田御鉄炮頭並ニ織田浅羽大蔵
殿様御同出火大炊ニ百ハ名兵陣江出其手江同出
御身振ニ而御旗本壱ヽ黄入被加瓦ヒ名主ト同桃
数を被為討取候
同ハ上野東ニ而御出馬ニ被為而同出江御陣様ニ数出大
跳田法候ニ御鉄炮頭氏家備之筆 江戸川 秋葉之助

補忘々

済て御ゟ先陣江被致ニ御通家ニ而御鉄炮頭安藤
勤候ニ同年御鉄炮頭安藤半兵衛討捕候
出雲守殿ニ御陣先立御田御出候ニ而御陣候
新様を討取候而江別様ニ而御鉄炮頭被隠
殿ゟ有大瀬殿様ニ而高名御出候同三郎
ニ御先手衆ニ而同山御田国ニ而雅楽頭殿
大鉄炮頭之子 御中知ゟ信州之郎々合場ニ入
者入殿様被及見

被為御中人々江御山入ニ其手江御中付
右 御中知状御馬ゟ頂戴候之所持候
御中知候子

神名之

慶長六年十月廿六日　御奉行
田中兵部大輔

大坂城於紀州城并城代御郡代御関東天慶山
之通被為御知行ニ付付木亀甲藏之無数大輔ニ
有之紙御申請之　御手頃戴之節御申請之

御書写

御郡中御家来之人々
御用之通其後御座候
後世為後證之物
舟渡候もの大き存候
御書之通右候十二月
其后於林泉之守
以御為中御差出候
又其后御申請候
とく御承知

九月廿二日　御鷹御判
田中兵部大輔

織田民部少輔家来之子田中伝左衛門忰大河将
監殿右衛門三郎ニて右衛門ト改大膳亮御徒士衆被
御國ニ罷出其後従民部少輔御抱被仰付候
色々粗方為後故民部少輔江奉公之右近
粗方民部少輔家来ニ之通り表持之通中
同年十一月廿日民部少輔様被召出候ニ付
三州西尾并御預ケ被成候一万三千二百石
御奉公被仰付候ニ付被成候段別同國
御門ニ而拝領仕候被下置候段御例年被成
大河内様
御附御供侍組書役相勤罷在候

吉次

寛永四年中 元和年中東叡山
被仰付候ニ付被成候段被仰付候
罷出候ニ付帰国仕候ニ付候ニ付
仕候ニ付候段申上候ニ付
被仰付候ニ付候段被成候
寛文四年二月晦日相勤候ニ付
同年十一月十八日病死 二十二歳
為元後宗巌道鑑
従五位下民部少輔
母 江州住士
三木基
当友之是ニ子

右氏新右衛門父篤信ハ北條家ニ仕ヘ後中山村
ニ於テ氏新右衛門迄三代郷士ニ相勤候
元和三丁巳年七月三日死 葬不知 墓所中山村
三三院芳樹宗清

吉信

母 同上

吉信 早世

右ハ吉信子新右衛門嫡男ニ而江戸ニ出テ[illegible]

忠政 年人 [illegible]

母 江州住 岡本[illegible]女

妻 松平因幡守[illegible]女

元禄十三[illegible]年[illegible]

氏新右衛門[illegible]

父忠政[illegible]

[illegible]年七月[illegible]

右忠政[illegible]

御書[illegible]

施行[illegible]

[illegible]

遠[illegible]

但[illegible]文[illegible]

中村[illegible]

二[illegible]

慶長十九 六月廿四日 御判
田中兵庫頭殿

慶長十九甲寅年并元和元乙卯年大坂御陣之節
既備与頭ニ付大岡忠顧之者共ニ而攻崎候
節 御先手之者共出張之備乗懸押崩候而
討死仕候時之御陣働見分之儀元和元年西ノ年同月

大猷院様御代 寛永御同年十月既備後
境同断之節
御廟普請之仕問
御文殿御預り被仰付候
御預之代々相勤候

源高隆居従一位大相国徳蓮社宗誉道和大居士
備之寺ニ而御法名也
料所之時同村ニ而寛永十年寄進之
寺納屋施行候元和六庚申年御勤仕
同年八月七日死去ニ而葬於本寺
施所大与樂池玄英石碑建之
御墓所之記録有之

長與

母 江刺氏 女
妻 某女

年月日被仰出候　寛政七卯年中火之節御用相勤候ニ付
随而御褒美被下置候旨被仰渡候　同八辰年月日
被仰付候　同年月日御用相勤候ニ付御褒美被下置候
右之外ニも御用相勤候得共私儀ハ二ノ丸御殿御用
相勤候ニ付右之通被仰付候　寛政申年御用
相勤候ニ付御褒美被下置候　田中与兵衛
久兵衛相勤候ニ付御褒美被下置候　久兵衛倅
何卒御慈悲を以被仰付被下置候様奉願上候　以上

内藤若狭守殿
小普請組支配
御名前

大坂御手代也
　　十月廿日
　　田中久兵衛

右之通相違無之候　已上　寛政七卯年十月廿日
御支配御役人中様

家督
　　従弟田中久兵衛

定庵

母　存生
実父　長沼新兵衛定房次男
実母　存生
妻　田中久兵衛養女
忰　長太郎　同年生

男子壱人ハ兼而病身ニ付[illegible]

候田中家ゟ[illegible]古記ニ相見へ申候　御息

[illegible]

[illegible]

[illegible]

台徳院様御代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九歳[illegible]年

台徳院様御代之儀者　御[illegible]

[illegible]巳年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛永八未年七月[illegible]

大猷院様御代御目見之　寛永九申年[illegible]

[illegible]

[illegible]

厳有院様御代[illegible]明暦四戊年[illegible]九

某

葬本所善全寺号瑞岩紹雲

早世　覚

養母　田中太左衛門長吉女

実父　菱沼織部正定吉三男

実母　某女

寛永十三年十月四日死号知玄沙弥

定栖

兵助　従五位下大隅守

母　田中太左衛門長吉女

妻　土屋山城守彰行女

寛永四丁卯年生江府

厳有院様御代万治元戊戌年十二月廿六日父之跡式無相違下

置之寛文二壬寅年常憲院様御館江勤

帰府江戸寛文三癸卯年十一月十二日定火消

御役被仰付寛文六丙午年二月十五日御先手鉄砲頭被仰付寛文

九己酉年八月十四日大番頭被仰付元禄四辛未年

六月十二日老衰辞御役被免同年十二月十二日被免

寄合元禄五壬申年十月十九日死六十六

葬本所善全寺号乾峯院殿大隅州太守一抱良峯

某

早世　某女

母　土屋山城守彰行女

定賢

前名　出羽守　従五位下大隅守

母　　大須山城守政行女

妻　　小出主殿守之重之女

明暦三丁酉年生江戸府　元禄五壬申年十月廿二日

宝永四丁亥年九月十九日卒七十二　葬永門寺号

号即信院宗関　大ち曲言日丹

右定賢公新名歌集六十韻八巻其外家集中山

定貞

主殿

母

妻　　小出大隅守之重之女

　　　某

延宝四丙辰年生江戸府　元禄五壬申年九月

父大隅守病免致仕七十六内膳亡養子

六十五二男内匠十五年初江戸從五位下信濃守年

五十五才致仕遍歴従三年ニ十五年卒

享保元戊申年二月十八日卒六十二葬永門寺

号吉知院宗仁日印

定安

権治郎　内匠

母

妻　　小出大隅守英之女

　　　右妻病死ニ付離別

延宝二甲午年生江戸府　右同年同日組

江　　伊丹兵庫頭組之入元禄十丁丑年

二月廿日父か遺跡を継、寄合に列し、遠江国[illegible]
其後[illegible]元禄十[illegible]年
[illegible]御礼、同年[illegible][illegible]
[illegible]伊[illegible]
[illegible]御切米五百俵[illegible]
[illegible]文[illegible]
[illegible]

文昭院殿御一周忌の節[illegible]

定元二男[illegible] 某 新規御切米五百俵
[illegible]

御切米五百俵[illegible]享保[illegible]
年三月十三日[illegible]

定賢

[illegible]

室 女 [illegible]

室 女 [illegible]

妻 女 [illegible]

延宝元[illegible]年十二月[illegible]

文昭院殿御一周忌の節[illegible]

[illegible]

[illegible]

九[illegible]御切米五百俵[illegible]

御引移之節ハ徒御目見以後ハ御供之儀ハ被仰付候

有徳院様御代享保四己亥年八月二日小普請組伊丹

兵庫組へ入被成　戊辰年十月九日甲府勤番

松平伊豆守組与力被仰付　茅原伊豆守殿被仰渡候

西丸御目付[illegible]　被仰付　御勤之内　新番宝暦三戊年

三月廿五日組頭被仰付同年同月より

御目見被仰付候　被仰付御広敷御番被仰付

小普請組へ　被仰付[illegible]

[illegible]御役御免被仰付　同年同月[illegible]

二己巳年十月十三日死去　葬所[illegible]

真

豊源院滴意洞水

甲世

母　[illegible]　小林源左衛門女

政昌

父　水馬　相馬

母　[illegible]

妻　[illegible]　菅沼[illegible]定辞女

[illegible]年十二月十八日江戸生

惇信院様御代寛延二己巳年十一月廿二日[illegible]

酒井[illegible]　[illegible]

宝暦[illegible]年[illegible]月[illegible]

一 御母者西尾隠岐守殿家来大久保某娘
享保四年十月庚午四月納
惇信院様御内 御名 伏見宮邦永親王女 御簾中 享保十一年十二月十一日
惇信院様御簾中 同年八月二日 御逝去 御年廿三
廿三 御同月 寛永寺 [illegible] 證明院殿
孝恭院様御内 西丸御殿 御名 松平右京大夫殿 [illegible]
花房周防守 娘 安永三甲午年四月十二日
御内 御名 松平周防守殿 御簾中
娘 享保元年 丑年 九月 [illegible] 御殿
御名 田安 [illegible] 御簾中 同年 [illegible]

孝恭院様 御名 松平右京大夫殿 [illegible]
娘 元文五年十一月 [illegible]
御名 同月廿日 [illegible] 御簾中 御目 [illegible]
[illegible] 川 [illegible] 中 [illegible]
安永年十二月 [illegible] 同年十一月 [illegible]
御母 [illegible] 二十九 [illegible]
浚明院 [illegible] 一周 [illegible]

御部屋
浚明院様 御母
御母 西尾隠岐守殿 [illegible] 女
実父 田中 [illegible]
実母 小林 [illegible] 女

妻　四男ノ内　書田井修理組　三枝治兵衛与女
享保十九己年三月二日江戸出生
惇信院様御代寛延元辰年父豊島茂平次跡式大久保因幡守
組御番入宝暦元未年　形有之候ニ付
差扣御免被仰付宝暦十一巳年　十月十八日御役御免
同年十月廿六日御免　御小普請入
ト御免ニ
浚明院様御代二宝暦之巳年三月廿日父豊島茂平次跡式
同年十二月十日惣領ニ無之候　御目見被仰付
同年四月廿五日　御書院番
ト御免ニ　御小普請組
支配三枝備前守組ニ付　同年九月九日
同年十二月廿三日御書院番頭弥次郎兵衛跡式
惣領被仰付　御番入　御免被仰付
二月廿八日大久保豊前守組入　同八月廿年
九月廿五日番頭組ニ　御取次　同年十二月十日
大網様御代　御小納戸頭取　御役御免御小普請
女子　母　四男ノ内三枝治郎兵衛組　三枝治兵衛与女　妻　有馬□□門　妻
女子　母　同断　同年内ニ出生　有馬五郎兵衛妻
女子　母　同断　仮田大膳妻

政賢　母　久保部
　　　　　右同町

政直　母　荒太部
　　　　　右同町

右之通ニ御座候以上

高六百俵　寄合
　　　　　生国　武蔵
　　　　　　　二本榎芝伊皿子台町

宝暦十一巳年十二月

田中少八郎（花押）

去十一月廿八日
建部因幡守殿ゟ出

清和源氏
七百俵高　□○坪田孝之助

系譜

添
た

大番
建部因幡守組
田中彦次郎

書付之通

覚

田中彦次郎儀是迄之通

初名金次郎　彦次郎　源義[illegible]

義智

長女　小普請組[illegible]支配[illegible]

片山権平同[illegible]妻

[illegible]支配[illegible]娘

養子　初名　新太郎　又彦次郎

右之通[illegible]是迄之通[illegible]

女子出生[illegible]

[illegible]義智

[illegible]相違無御座候[illegible]

[illegible]書入[illegible]

[illegible]

一　亥三月

大御番
[illegible]
田中彦次郎

源姓

田中

垂仁天皇之後胤国守中納言従一位左大
臣範光後裔田中山宗光入道居住之於
国崎蘆生村住居之節田一ヶ所門前有之
依之称田中因茲改田中為氏

幕之紋　横木瓜
　　　　三ッ左巴

家之紋　横木瓜

替紋　瓜之花
　　　三ッ左巴

実家元嶋子田中之孫
田中長門義忠従弟

義次

初名　彦四郎　田中主膳

母　勘右衛門　竹中来之助女

妻　某

文禄三甲午年11月某武蔵出生

権現様大坂御陣之節御書被仰付被為召出八拾石被下

下之別家也　御奉公勤

台徳院様御代　大御番被仰付
　其後大御番勤務仕候　年月不知

大猷院様御代　御小性組被仰付
　寛永年月日不知市ヶ谷浄瑠璃坂住居

厳有院様御代

寛永九壬申年十一月廿八日病死五十七歳
小日向服部坂慈雲山龍興寺ニ葬
法名　永誉智雲

義晴

初名彦次郎　六兵衛

母　不知

妻　初不知　　小笠原宗左衛門女

元和八壬戌年[illegible]武蔵ニ生

寛永十九壬午年十二月父[illegible]跡式相續

小普請組　酒井紀伊守支配ニ成

慶安二己丑年六月廿[illegible]日大御番[illegible]

[illegible]組ニ成

寛文[illegible]勤役不知

明暦[illegible]年十二月廿三日病死[illegible]葬地

葬地[illegible]　法名　光誉智春

[illegible]松平[illegible]女

女子

母　不知

義久

[illegible]

養母　不知　　小笠原宗左衛門女

実父　大番池田帯刀組　松平金左衛門出羽次男
実母　家女
妻
元和元乙卯年二月六日亀丸出生
右者幼稚而父母相果候後兄甚五八成
明暦四戊戌年七月日甚五郎為養子跡目被仰付
御小普請組溝口出羽守与力罷成
寛文十二壬子年正月十五日病死八十八歳葬所
法名　覚田義勝

義勝

伊兵衛
養母　今女名
実父　大番池田帯刀組　松平金左衛門出羽二男
実母　家女
妻　家女
万治三庚子年七月廿日誕生
右者実子無之候ニ付甚五成
寛文十二壬子年十月廿二日甚五郎跡目被仰付
小普請組溝口出羽守与力罷成
元禄元戊辰年十二月廿二日病死

元文五庚申御書院番入 仰付 山岡和泉守組 組頭関口文之
申年十二月廿五日新御番 御書院番 仰付布衣市
左衛門組
同十七辛巳年十二月廿八日 御使番 組頭布
衣御役 仰付
寛永六己丑年二月廿六日新御番 御番頭 仰付
組頭 仰付
正徳元辛卯年十二月十八日 御書院番頭 仰付
享保四己亥年十二月十八日 …… 仰付
法名 棧岳居士

義孝

母 某女
妻 某 …… 女
貞享四丁卯年二月三日 …… 女
正徳元辛卯年十二月廿三日 御目見仕
享保四己亥年九月廿七日 父跡式 …… 仰付
小普請組 …… 組
同九甲辰年十月廿五日 大御番 御書院番入 仰付 …… 組
…… 組頭 …… 番 ……
元文五庚申年十二月廿七日 …… 病死

女子　養花院　法名　雲岫令典
書院番組石川伊織組　三宅作兵衛徳右妻
母　某女

女子
小十人番　[illegible]組　大久保八兵衛[illegible]妻
母　某女

義智　金次　彦次郎　源喜
母　小普請組　能勢市十郎支配　[illegible]女
妻　小普請　[illegible]　大井新十郎　[illegible]女
後妻　西丸新番　服部[illegible]女

享保四己亥年十二月十七日　出生
宝暦五乙亥年九月十八日　初而　御目見
元文六辛酉年三月十七日　父[illegible]跡目　伊賀守
松平伊賀守殿　御渡　小普請組　小笠原新五郎支配
宝暦九己卯年四月廿六日　小普請より　大番入　伊丹[illegible]
松平右京亮殿　御渡　[illegible]組ニ成
[illegible]
安永七戊戌年六月廿七日　[illegible]病死　葬[illegible]
法名　[illegible]　全[illegible]

義芝
新左衛門　彦次郎

母 石尾新四郎某　服部市右衛門正治女

妻 同姓某　坂部惣五郎正重女

寛延三午年十月十六日生

寛政元己酉年九月廿六日初而御目見仕

安永七戊戌年七月七日父源左衛門跡式相続

之番被仰付 小普請組長谷川甚平支配

寛政六甲寅年四月十七日 御書院番被仰付

小普請組河野為之丞支配

寛政十四年三月 御番入 御番

享和 [illegible] 年 [illegible] 御 [illegible] 組

長女

寛政十四午年四月二日生 小普請組 小普請 [illegible] 支配

行山徳平国依妻

母 同居 [illegible] 人

寛政 [illegible] 組小普請伊豫組 [illegible] 女

太井新十郎光尚女

女子

母 同居 [illegible]

坂部惣左衛門正重女

女子

母同

女子

母同

右之通ニ御座候

高田重兵衛　上総　周准郡西川村　浄願寺旦那　市子谷
　浄福寺旦那

寛政十一己未年十二月

田中彦次郎　未歳二十八

未十二月晦
浦賀御番所へ出

系譜

文政式
八百九拾壱番　○　堀田采女正

大沢
甲二
蒙

浦賀御番所ニ而
田中彌兵衛

座光寺

田中

先祖田中民部正利ニ至テ八代以前田中左衛門尉
爲氏従兄田中出羽守綱長田中ト称

幕之紋　三ツ松皮　四蔓柏

家之紋　同断

替紋　四蔓柏

大膳亮藤原時代之後胤田中九郎左衛門尉爲氏十八
代之孫

正利　民部

武田信玄并勝頼二代ニ仕天正三亥年於三州
長篠合戦之節討死

正長　孫三郎

母　勘右衛門　女

妻　

年月不知甲州国出生

本宮長谷西田勝頼江仕 生害 後流浪仕候
年月日不知
権現様ゟ 三百石甲斐国 御代官ニ 仰付在候
駿河大納言様ゟ 被為 附 同年迄 御奉公仕候
病死仕候 其節ゟ 書物不 享保九辰年三月四日
類焼之節焼失仕候 年月日不知
寛永之頃 年月日不知 病死 甲府八日町寺葬
葬 法名 浅院秋誉源岳

正重 又兵衛
母 某女

正吉
年月日不知 甲府ニ而出生
駿河大納言様御勘定所御勘定役相勤候
寛永十一戌年ゟ
大猷院様御代ニ 甲斐国 御代官被 仰付
同十九午年十月十七日病死 葬甲府門
法名 南誉還光

正貞 左衛門
母 某女
妻

理隆 二ノ

本国日向初甲斐ニ而出生
寛永十九午年十二月ニ父跡式不違小普請組
杉浦内蔵允支配成
慶安元子年十二月五日病死葬地荻門
法名　継誉雲融
仕廿五

本国日向甚右衛門源長政嫡子成

理勝

仕廿五
実母　家女
室父　河何某　　田中文右衛門ニ嫁ス

実母　家女
妻
本国日向江戸ニ而出生
本国日向甚右衛門源長政嫡子成
慶安元年辰年二月長政跡式不違小普請
寛文九酉年七月十九日大番組ニ成　伴井若狭
丹後守組成、高力左近太夫組
〔天和元〕
延宝九酉年十二月病気ニ付新番過小普請入　伴
同年中根大隅守支配成　元禄十丑年十二月廿六日
病死　江戸市ヶ谷禅宗多聞院葬

理信

法名 勝岸院通巌理玄

八三郎 彦右衛門

母 家女

実父 大番 岡官七郎[illegible]次男

実母 家女

妻 田中伝右衛門理勝女

年月日不知 江戸出生

年月日不知 若年ニ而成

宝永六年丑三月廿九日新規御徒大番小十人ニ而入

江 御作事方三役相勤候

貞享三寅年十二月廿九日御切米御蔵米被下置[illegible]

元禄八亥年十月廿九日右被仰付 御代

同七年十二月[illegible]給百俵其後御[illegible]三百俵

高ニ成 宝永六丑年[illegible]葬[illegible]

法名 通岸院巌見宗寿

理長

半助

母 家女

宝永二酉年十二月見八三郎理信嫡子

女子

母 家女

田中八三郎理信妻

理長　半白

養母　田中竹左衛門理勝女

実父　田中竹左衛門理格次男

実母　家女

当妻

年月日不知　江戸出生

宝永二酉年十二月五日八歳理信跡目[illegible]

同六丑年四月六日嫡子[illegible]御番入[illegible]

御番入之[illegible]

[illegible]年[illegible]月[illegible]

正徳六申年十二月[illegible]新[illegible]

[illegible]

享保六巳年二月病死　葬地[illegible]寺

法名　[illegible]院[illegible]

理以

養母　[illegible]

実父　[illegible]次男

実母　家女

妻　[illegible]長女

享保元申年月日不知　江戸ニ出生
同六丑年　悲母ニ六歳
同年閏月（閏七月か）廿日養父跡式被下置小普請組入
閏之節ニテ九歳
同十八丑年五月廿八日元文御目見ニ而入之　作付
寛保二四年七月廿日御作事ニ付
同年十月同所ニ而甚兵衛番組ニ同所
御目見へ組之節　作付
宝暦三酉年十月御小普請組入同年
安永四丑年四月十二日病死　葬所

狸 和（カツ）

前ハ　法名　寛光量院泰岩道英
稽古

母　田沼　京田頼阿部喜女
妻　山形　茨城喜久英女
延享元子年五月四日江戸出生
明和二酉年四月三日父跡式被下置小普請組
市橋之組ニ而九歳
天明元丑年十月九日喜兵衛ニ組之節　大
西番ニ而組入　作付　松浦ニ而組ニ入

同二寅年　京極主膳正組相続被仰付同年兵
部少輔百人ニ同三卯年阿部主膳正組入
同五巳年三月　西丸書院番頭副役勤仕同年
兵部少輔百人ニ
寛政元酉年六月　京極主膳正組入
同二戌年十二月御勤定吉田兵門相続仰付御
御役料ト称シ御切米ト仰付
同九巳年十二月十八日病気ニ付依願御役御
役料等御免被仰付御書院番入之相成ト仰付
隠居後家督之相成

同年伊佐九左衛門　御先手組仰付
同九巳年九月十三日卒行年八十余才葬
法名　千林院紅山良樹

女子
母　同
雲州桑野氏ノ娘組
石川百助成久妻

女子
母　家女
大嶋主馬河野氏経
小嶋喜左衛門正頼妻

理郷サト
謹吉
母　河合氏
荻生喜兵衛久英女

妻 小普請組酒井山城守支配 荒川文次郎長頼女

安永三午年三月廿六日出生

寛政九巳年十二月廿日父文次郎方ニ而 小普請組

酒井山城守支配成

[illegible]

理純

八之丞

母小普請組酒井山城守支配 荒川文次郎長頼女

[illegible]

高三百俵 本国播州 [illegible]

寛政十一己未年十二月 田中鐘之丞 (花押)

十二月廿八日
小笠原若狭守出

系譜

七百石 [illegible] ○ [illegible]

大河 [illegible]

小普請組小笠原若狭守支配
田中孫之丞

源姓

田中氏

代々上野国新田郡田中郷ニ住居仕候ニ付本国

田中ト名乗候ニ付郷中ト仕候

家之紋　丸ノ内ニ揚羽蝶

替紋　右同之丸

清和天皇六代之孫八幡太郎義家末流

某

右初名某前代之上州新田郡田中ニ住居仕

本国田中ト申地名ヲ為名孫ニテ戸新田義貞

中興ト仕候今川義元ニ属ス尾張国ニ寺

之働ニ於テ信長公ト合戦之節義元討死

之後ニ討死仕候源ヲ新左衛門田中氏之

国へ引退キ候テ後病死仕候

某

初名某

又新左衛門　遠州浜松ニ住居仕候

国ニ而甲斐信玄勝頼ニ属シ

子孫代々田中ト名乗申候

某

初名某　又隼人

母

播州
加古家備中守女

父新左衛門ヲ以テ夫何右衛門ト一所ニ立
退生國播州ヘ帰リ候而浪人仕居候処ニ屆シ
其後病死仕候　同子里見小次郎養子ニ
罷成里見没落以後　室田ニ引退寛永
年中病死　室田ニ長年罷在葬送仕
白旗ニ罷候而居士ト申候
夫何右衛門方ニ而病死仕候
奉公仕候元和ニ比罷在候
室田ニ而焼失仕候

某

古新左衛門
父新左衛門新規ニ召出ニ付一所ニ生國ニ立退
浪人仕候処ニ病死仕候

某

勘左衛門
生國ニ而浪人仕候処ニ病死仕候

某

古主膳
生國生阿部備中守ニ仕候浪人ニ罷出
室田ニ引退病死仕候

宣能

勘右衛門

上野国生　杉本細川ニ住　壮年頃細川
三通　浪人ニ而病死仕候由

女子
　浅門
文昭公御代ゟ　右浅門當國出生
　西丸御客応答相勤
享保六丑年正月廿六日病死　谷中本行寺
　浅草ニ葬
法名　清境院恭誉浄宝大姉
右孫

重興

養母　浅門
実父　田中勘右衛門　重秋
実母　家女
妻　家女
文昭院様御代ゟ　右者當國出生
　西丸御客応答相勤　浅門隠居之
　跡式家督被仰付
正徳元卯年七月廿一日新規　西丸
　表御台所新御番衆組頭格
　御番入

享保九辰年十一月廿二日 小□源右衛門組へ入
同十二未年三月四日病死 前ノ同寺ニ葬
法名 悦蓮秋耳誉露水ノ阿□院□
右後

貞宜

女 某妻

養母 家女

実父 [illegible] 六郎右衛門 鳥居良秀

実母 家女

妻

右之後妻 江戸生 田中左信某 女

有徳院様御代某父 田中左信 新御番 大岡 植 母組
勤ル節 男子無之 右左信養子ニ 願之
以上 左信 御番 其子某 養子ニ 願
享保九辰年四月廿日 作付
同十二未年三月四日 父左信 病死 仕ル
同年七月十一日 跡目 小普請組 ニ 入
右ノ趣 父死ル 入
同十七子年三月廿日 去 [illegible]
[illegible] 同人 父死 [illegible]
[illegible] 石門 [illegible]

赤坂水門明神下御屋敷之内御預ヶ
右付伺之組頭渡辺甚之丞相改
屋敷之ニ月相続勤仕候
同九寅年六月九日ニ而　御付
元文元辰年十一月廿七日　西丸新御番
右屋敷之本組ニ被為入
同二巳年十二月廿三日
竹千代様ニ而御部屋住之節　組頭
寛保元酉年七月十八日　西丸御小納戸
御次　御付　同年九月廿三日

大納言様御小納戸ニ　御付ニ
寛延四年慈恩ニ付九人落着
同断　御用御預仕候御持病ニ
延享二丑年九月十日　西丸御小納戸
ニ　御付
御移ニ付　御本丸江御供ニ　御付
宝暦十辰年六月十二日　両御丸ニ
御移ニ付二ノ丸　御止宿御供ニ
御付同十一巳年
惇信公薨　御ニ付同年八月御一統奉窺之

御小性組一生之内番入於東丸井上
河内守組ニ御番入
安永二巳年三月十七日卒六十六歳同寺葬
法名善岳院殿浄誉観光

良幹

七郎三郎

養母　田中左兵衛某女

実父　此元山縣總次　山村平部右衛門良衣二男

実母　元祖田邊次　菅原主計定胤女

妻　田中左兵衛宣女

右七郎三郎儀御部屋生

惇信院様御代左兵衛儀ハ山縣男子無之ニ付

養子ニ仕右七郎三郎を相続仕度段願之通

年頃之御礼

宝暦九卯年十一月六日　御目見於奥

若年寄衆小野和泉守殿御役御礼

同十辰年四月十六日　御目見　御役人

安永二巳年三月十七日左兵衛家督被仰付

同年六月二日父七郎三郎儀ニ付家督

相続右京大夫殿　小普請組入

外記之死去候
天明四辰年十二月廿一日家督被仰付一統
御目見 仰付 全同道江戸ニ而死去候
寛政元酉年九月四日早世病死前同当
葬 青瑞運院正誉覚心

貞経

後之家

父　田中七郎兵衛久幹

母　田中右衛門女

私父田中七郎兵衛義二病気ニ付

寛政元酉年九月廿二日 跡目被仰付 同月
同日病死仕候 同年十二月廿二日 父跡目相続
下置 松平紀伊守殿被仰付 小普請組金田組ニ罷
在候 入門人ニ而死去仕 赤坂水門町新下
清願寺 小普請組 同寺ニ而死去候
葬 同年世ニ相町之通相与之候
番 小普請組
同之年十月廿四日 被仰渡 相続同年
十月廿二日 八丈十三郎ニ而死去候
同巳子年七月廿九日 戸田内膳殿ニ而死去候

同年五月廿六日家督被仰付
御目見仕候
同五丑年四月廿八日於大坂病死仕候哉
同十一未年十二月廿二日小笠原若狭守病死
跡目仕
五十六歳

源太郎

女子
石川[illegible]組[illegible]嫁
[illegible]

寛政十一未年十二月病死小笠原
若狭守中渡候
右之通御座候

高祖父[illegible]儀
本国 三河
生国 武蔵
[illegible]寛政元年より御役[illegible]
元禄[illegible]七代

寛政十一未年十二月
田中孫兵衛 年三十七
印

当十月廿八
山口勘兵衛□□出

諸氏
當世流〇別四冊

存寄書

大 橋形

小普請組
山口勘兵衛支配
田中彦三郎

橘姓　田中　幕紋　[illegible]

替紋　[illegible]　[illegible]

旗紋　三ツ巴

本国近江　橘諸兄後胤　田中御本家宗弘　江州高島郡田中を

領し其所之名を以田中と称す

宗弘

御本家

江州高島郡田中を領し其所之名を以代々[illegible]

[illegible]

吉政

初長政　久兵衛尉　従五位下兵部少輔

従四位下侍従兵部大輔ニ累任

織田信長ニ仕ニ万石を領　従四位下兵部大輔ニ叙任一

字を称り長政と号　江州甲賀郡[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

筑後国三十二万石[illegible]

[illegible]

吉久

民部

病身ニ付御番不仕生涯浪人ニ而生年死去不知

忠政

仮名不知

従只御代々御浪人ニ而

吉田縫殿様御家来十左衛門与申男子有之

方何氏ト 相違有之候得共

吉勝

民部

浪人ニ而京都ニ住居江戸ニ参り右所ニ出生

卒年月日ニ而死去不知

政信

初定吉　幸左衛門

母　妻　不知

生国年月日不知

有徳院様御代甲府勤番ニ而御代官ニ被召出

ニ而　五拾俵ニ而御徒ニ被召出年月日不知

大猷院様御代寛延二己巳年月日不知　御隠居

被仰付御五拾俵河内守様御預

寛延二巳年月日不知ニ而相勤候へ共御役人

法名院殿 元禄己巳年十月十六日卒

葬地法名共不知

二代目
政之　吉右衛門

母　妻　不知

年月日不知　生武蔵　元和二壬戌年六月十九

桜田御殿御中奥御小姓組[illegible]

出元行不知　後[illegible]小普請入　後[illegible]

組江入　元禄二己巳年十一月十三日　文右衛門[illegible]

高之内御扶持方[illegible]御鎗門七甲戌年九月

十七日　卒　歳六十九　葬　[illegible]宗　長[illegible]法名不知

三代目
信之　文右衛門

母　妻　不知

年月日不知　生武蔵　桜田御殿　元禄七甲戌年

月日不知　父[illegible]御扶持方[illegible]

[illegible]元禄十丁丑年二月[illegible]

[illegible]入　同月[illegible]七組江入

文昭院様[illegible]入　宝永元甲申年十二月[illegible]

[illegible]　正徳[illegible]乙丑年十一月[illegible]

[illegible]　[illegible]小普請入[illegible]

享保[illegible]年[illegible]入

[illegible]年[illegible]

[illegible]享保十[illegible]丙午年[illegible]

[illegible]葬[illegible]

四代目
元陳　三治

養母　養女

実父　津軽土佐守家来　長沢源右衛門

実母　同　家女

妻　同人養女　林　後藤　女

延宝八庚申年三月廿九日生　江戸厚(?)…之流(?)…
宝永七庚寅年十二月十二日　御目見　御使

同八辛卯年三月…

文照院様御部屋　御目見之面(?)…年七月十一日　文昭院様御部屋
…　松平紀伊守…小普請組松平伊賀守組入
享保三戊戌年三月十二日…
同八癸卯年　御目見…　…丙午年

御目見…延享二乙丑年三月十二日…元
…
…元吉…
…行…同年八月十二日…
…松平…
…小普請入…
…
…十一年…延享三…年
…十二月…

元吉

享保十乙巳年十月廿一日…

右出大河内小笠原備中守ゟ縫殿入 小笠原ゟ縫殿
延享二乙丑年二月十一日妻ニ而五十四年
母 林 段右衛門女

与真
小田切新
元文元丙辰年十一月廿三日西尾隠岐守小笠原勘解由[illegible]
月光院様御附人市田[illegible]質 新[illegible]衛 妻

女子
母 同断

五代目
元連（ツラ）
享保[illegible] 幼名八十郎 後改[illegible]
養母 林 段右衛門女
実父 西尾小笠原備中守ゟ縫 小林田[illegible]三男

実母 桐[illegible] 前田[illegible]和[illegible]室桐女
妻 大岡[illegible] 林 吉 仲右衛門義女
享保十二丁未年八月九日生江戸ニ而[illegible]元保[illegible]
[illegible]
[illegible]延享[illegible]丁卯年
[illegible]延三[illegible]午年十二月[illegible]年
[illegible]
[illegible]寛延[illegible]年八月[illegible]
[illegible]入二[illegible]九[illegible]年
八月[illegible]
入[illegible]八丁[illegible]年八月廿三[illegible]村[illegible]

元秀　八十郎

母　林吉仲　女

宝暦二壬申年十月八日生江戸明和四丁亥年

十一月初二日卒年十六葬谷中号瑞光院元居

元包　カネ

幸次郎

母　同上

先八十郎卒後為嫡　明和安永二癸巳年

六月六日卒年十八葬同前号光昌院元勝

女子

母　同上

嫁[illegible]　田辺忠四郎惟中妻

女子

母　同上

養子安部左馬之妻

六代目
慈眺　スチ

安部左馬

養母　林吉仲　女

実父　小笠原[illegible]男

実母　[illegible]　同上　浅香次女

妻　養父　安部左馬元達　女

宝暦七丁丑年三月廿五日生江戸為安部左馬元達

男為慈眺家嫡養子年十七安永二癸巳

年六月十八日継家安永六丁酉年

八月十三日父[illegible]遺跡[illegible]相続其年

[illegible]

四甲辰年十二月廿二日於[illegible]

天明七丁未年三月十五日西丸小性組々
番入二條加番相勤寛政七乙卯年七月
十一日卒歳二十九葬同所号玉峰院寿元

元勝

実子

母　田中善左衛門（信平後）女

妻

安永八己亥年三月八日生江戸父中嶋左衛門寛
政七乙卯年七月嫡孫承祖御目見同月
十一日卒同年十月三日御目見菊之間番入
仕小普請組勤之歳

元貞

実名郎

実父　小林四郎左衛門昌紀之男

実母　家女

天明二壬寅年七月十三日生江戸寛政十一
己未年二月朔日母方従弟元勝続ニ而遺養子
被仰付同年八月嫡養子溜所元先祖以来住宅之処
之所寛政十辰年十二月三日類焼旧記之焼失
以前之儀旧記細之義不相知申候

右之通御座候以上

高割帳

武蔵国　荏原郡
当国　武蔵
馬込村
御料所之分

寛政十一己未年十一月

田中平之助　六一才

右檢見ニ付差出申書

中六郷
東海道宿場出入

名組書

た
宗源新
八月まで済

東海道筋
当所御関所御用向書

東海道
田中右衛門

源姓

田中氏　家紋　柏葉之葉

幕紋　同紋

替紋　丸之内水之字

先祖中川部田家ニ仕、滅亡之後武州橘樹郡

川崎村ニ居住仕候由申伝候得共、先祖

書類焼失仕不知

養父

武州川崎村住居浪人田中兵庫養子

休愚右衛門　称休愚

実武州平沼村浪人窪八右衛門長子

養母　武蔵野浪人田沢吉左衛門女

実母　武蔵野村浪人千田伊左衛門女

有徳院様御代

享保八卯年武州川崎住居浪人之節

御召出被大岡越前守殿荒川通

川除御普請御用被仰付　扶持人扶持

被下置、同十二月西門通多摩川用水六郷川

通川除御普請御用被仰付　御代官

之下、同十一子年相州酒匂川御普請掛

御用被仰付　御勘定

同十四酉年七月同所之内三万石之支配

被仰付　御役料弐拾人扶持被下置候

三拾人扶持ニ而成立死跡式無相続候　仰付
大目附所ゟ無死ニ而成候
同年十一月二日病死　武州橘樹郡小田村
妙光寺葬　法名日解
妻　田中左膳女　亮
後妻　小十人　那須半右衛門女

表家
仲蔵　川端ニ住
母　田中左膳女

享保十四年三月親の跡式無相違
地方三百石之通被下置候　仰付　拝領勤仕
候　仰付
同十七子年二月御番入被仰付　仰付
同十九寅年三月二百石加増被仰付　仰付
元文四未年二月御役被仰付　御扶持方
三拾人扶持被下置候　病死
同五申年二月廿二日病死　法名七月
町長仙寺葬　法名　日理
妻　後人　大久保弥助女

安之

長谷川主馬

母　初名主馬妻女

延享三寅年六月捨子ニ付今ニ在リ　長谷川

甚左衛門安貞養子兵庫

表道

二代目　江戸生

母　大堀何某女

元文五申年六月十一日父跡式ニ付

小普請ニ入

寛延二巳年六月廿三日御代官ニ付

宝暦三酉年八月十一日御役御免西丸

持小普請入ニ付

同六子年二月小普請組頭支配勤仕

並取扱

明和六丑年八月廿日御番入ニ付

寛政十午年二月七日八十歳ニ而卒

同年清名　日嘉

妻　菊池兵部少輔　長谷川甚左衛門安貞女

孝菜

村之三郎太夫　初名喜右衛門

母　[illegible]

元文二巳年十二月八日表四番兼村ニて死ス

為養子ニ罷出

源良　病身ニ付出家

母　同前

女子　母　同前　小十人　大井帯刀正淳妻

女子　母　同前　小普請　石田左源次正毅妻

女子　小普請組　米田丹波守正寿妻

母　長谷川甲斐守某女

留次郎　母　同前　恒彦　江戸生

表和　母　同前

明和六丑年八月晋泉院殿御小姓組入　安永八亥年二月十七日二十七才ニ而病死

同所法名　日交

妻　無之

正純　母名　兄恒彦表和養子

正純　喜彦　同生

母　同　表和

寛永八辰年六月養父順斎養子奉願
願之通同年九月廿六日於御座之間御目見被仰付小
普請組小笠原若狭守支配入
同九子年十二月廿二日家督被仰付
御目見之　御付
天明三卯年八月廿九日書院番被仰付
同六午年六月廿二日西丸書院番被仰付

妻　片桐石門某女

女子　母　家女　大嶋宗九郎義妻

正美　養子　母　石門某女

沖次郎　母同　早世

女子　母同　早世

女子　早世
　母　同系

女子　早世
　母　同系

女子　早世
　母　同系

右之通御座候

高百俵　内 [illegible]
本国 生国 武蔵　浄土宗 [illegible]

寛政十二庚申年六月

田中吉範　当四十七歳　印

是迄ノ通
堀田大隅守殿

系譜

源
大新
[illegible]

[illegible]
吉兵衛 ○ 堀田[illegible]

小普請組 堀田大隅守支配
田中吉之助

浪花

田中氏

清和天皇之末流従後流ニ而出ル所不分

田中八左衛門浪人ニ而武蔵國ニ居住仕候

田中右京亮与申者子細不知

家之紋　丸之内打貫

幕之紋　上同

替紋　丸之内破菱

田中八左衛門 右京 不知 長男

正吉 ―― 源八郎

母　家女

妻　吉田増右衛門家来　廣瀬茂之丞女

明暦三酉年武州出生　始浪人ニ而罷在不知

常憲院様江館林ニ而廊下番ニ被召出切米百俵

并役料百俵ニ而其外勤之内時様被加候

右之勤其後年月不知

宝永六丑年二月廿一日御廊下番御止一統

小普請入被仰付　大久保組ニ而相勤候

同七寅ノ年卯月十六日　妻之内死　行年

享保元丙申年五月十三日去寺同心番正一統
小普請入 御附大久保淡路守組ニ成
御名 丹波守組ニ成 同十乙巳年四月十三日
病死 年六十九 江戸麻布 寺ニ葬
法名 一心院蓮清日源

正高

吉八郎

母 廣瀬覚之丞女

妻 松平出雲守家来 恒川吉兵衛女

元禄己未年出生 同十二己卯年三月三日 家督継之

継目

享保十乙巳年四月廿五日父同人跡式無相違
御名 松平伊賀守殿ニ御預 父時之通當番ニ成 稲葉
丹波守組ニ成 丹羽遠江守組ニ成
延享三寅年二月十五日 病死 同
河田見任 同己卯年九月三日病死 五十七 葬
前同 法名 観了院月徹日恩

正光

今吉之丞

母 上同

元田吉八郎 寛政辛卯年 病死

女子　母同
當時松平備前守家来 後名 植村市三郎政勝妻

正直　彦三郎
母　松平出雲守家来　恒川杢右衛門女
妻　田安附長橋局行　清水御小納戸久慶女
享保十六亥年出生
延享四卯年十二月廿一日父田沼吉八郎跡式
小普請支配多伯耆守組ニ入同日御目見 附小普請組
直御番組入　寛延元辰年二月十三日極

御目見仕候　渡辺若狭守組ニ
同八寅年九月十八日表御右筆ニ被仰付 酒井
左衛門尉殿被仰渡
同十二午年三月四日奥御右筆組頭 小普請 所ニ
新規被召抱候　桐間御番勤 御勤仕被仰付
其外清所組中 明和元年御目見
病身ニ付安永四子年十二月廿八日御役御免 小普請
入 御同所 田沼能登守 死 跡式 養子
天明八辰年十月六日病死 年六十六　葬地
同　法名　本妙院日好居士

女子　當時存命細川若狭守家来　三橋金次衛妻

母　同

邑信

名　藤

養母　異國長崎奉行　清水源八郎久慶女

實父　同心奉行　河合平八郎邑勝三男

實母　當時存命寺社奉行組与力　稲垣六之丞義信女

妻　養父　田中半三郎正直　女

寛延元年三月十六日出生　養父田中半三郎

續書之内右年十一月勤之奉　男子無之死去之後

跡目相續之筋

安永四未年七月廿九日　願之通跡目被下置

御小普請組加納遠江守組ニ被仰付

同八申年十二月廿二日　於躑躅之間

御目見仕

寛政二戌年十二月廿日　於虎之間若年寄中

之　仰付切米百俵被下置於躑躅間

勘定所

同三亥年六月　御目見之人　仰付被下

戸田采女正殿　仰渡候旨相達　仰付ニ成

女子

同七卯年六月廿八日多賀三左衛門組ニ成
同八辰年七月廿七日養父主三郎病死仕候ニ付父子
同日ニ而跡式相續 御番是迄之通相勤申候
同十午年六月晦日病身ニ付小普請入支配日向
半七郎之通ヘ 依願御番衆被仰付
御番多賀三左衛門中ゟ小普請組 堀田主膳
支配ニ成 同年十二月於八右門小普請入所縁々
同新御番ゟ御暇九郎右衛門年寄御番衆
御暇之通相勤申候 仰付ル

妻
田中久之助邑信妻

正泰

母 田安殿長局 清水源八郎久慶女

政右衛門

母 田中主三郎正直女

安永六酉年十二月十六日出生

寛政十一未年二月廿七日田安住御清所

女子

母 右同

某

母 右同

全年

一 年齢同月右組元年相続仕候諸書面焼失

仕候付巨細ニ相知不申候

本道湯液拾四つと

高百六拾俵 本国 生国 武蔵

相原鑑次 小石川白山 元町住候

寛政十一未年

田中元助 未四拾六歳

石

未 十一月出

診氏 高六拾俵○堀田豊前守

免状書

大 医師形

小島醫師

田中復川

源姓 清和源氏

元来源氏 本家紋 三ツ菱
後改田中氏 替紋 丸ニ三ツ柏
幕紋 黒餅ニ丸ニ三ツ柏

元来氏ハ甲斐国武田氏ニ出テ源右衛門某ニ至ル迄
甲斐国住居武田家ニ属シ信玄公ノ中年ニ至リテ依テ田中ト改ム
一 将軍家ニ仕ヘ源姓ヲ称ス後代々田中源氏ト
右源氏嫡流八代ノ孫源右衛門ニ至リ同国宣原ニ住ス四十八
歳ニテ卒ス其後ハ田中ト称シ其後医師
業ヲ継キ 属シ其後相続シテ田中
氏ニ改メ其後代々右之通リニ
年号元和二庚申年 業ヲ継キ 今

元祖

右元祖長男ニ而御座候所幼年ニ付養
宣久医業ヲ伝ヘ宣久之帯清(?)ニ任セ医業并ニ
文恭院様御代 [illegible] 田中玄徹
明暦三丁酉年四月十九日死 右宣久後嗣子
ニ御座候田中玄宗 [illegible] 宣久家督
右綾仕玄蟹 宝永四年十一月十六日死

本国 常陸
生国 武蔵

右医師 田中俊庵玄秀

母 細川 [illegible] 蘭井 [illegible] 女

右倅 町医師 田中玄宗 [illegible] 代
町医ニテ [illegible] 享保九甲辰年四月 [illegible]

御目見仕候処同月次御礼出仕　寛延二巳年

随自意院宮御遠忌之節法華八講ニ付

證義相勤之節東叡山中ニ而御新ニ付年十二

月目見仕也　山門ニ而遂業之後　山家之直之

宝暦三酉年四月十一日　右者一生之内三役人格別

御取扱御門跡衆之　山之衆徒之内ニ而御取扱

新宮縁起御聞御推挙仕候　同年五月御登山

御衆徒之内和人馬御手当被成下候　御目見仕

候処御門跡御登　山之節御供

同十月御勤之御幕府御用之節御年御門跡

天保元　御大会之節能化御勤仕候　御目見

御殿御役之御事相勤候御座候節御目見仕候年

六月七日　出仕御用之切紙被成下候

甲辰二月廿日御紙面被下候　切紙二枚

右之趣仕置相済候

惇信院様御代　勝胤　勝興　御所　新宮之節之役入道物

五月之内　御宮之役目之事之　御目見　又ハ之右之通

御例ニ　御門跡之三年年御幕府御数八十余

伊豆之国所西山寺　当院雪窓　玄秀

不会者　奥山御院様　一建之門人

其後代々右醫術相續仕候

二代目

玄秀妻　高瀬氏

惣領　德悦と申し

生國　武藏　玄秀実子惣領　田中後庵玄方　初德川

母　某女

右玄方儀於御府内目見之上御扶持随自宣院様
御茶湯周防守殿寛永十三丙子年二月於て
兩丈御預ケ被仰付　御目見仕年頃御扶持頂戴
御礼申　御扶持仕同九己卯年十二月廿六日　死去

一生同年人扶持高後御役也　同年御扶持下候
相勤松平右京亮殿御代御扶持相勤同十一
年己年御門役御随身宣院宮様上京仕御扶持仕候
十月於御当地御目見仕候候二今取松平右京亮殿
御代同十三癸未年十二月於江戸萬石頂戴江戸町医者
京橋溜池町西側ニ罷在寛永己未年十二月十二
日迄二罷在候得共百石相續之儀ニ付永々
右之通罷在候年於松平能登守殿御役候
正明八甲申年二月十一死　歳七十葬門寺　号
德雲院大安玄方

玄方妻 西丸御小納戸 清須孫之丞養女
実細川越中守家来 白枝形平女

玄方養子 譜末ニ有之

女子 養子 後門玄鈞妻

女子 加賀能登守家来 宗佐平就之妻

三代目 玄方養信

後藤玄方養子
後藤玄方嫡子
町医
向田秀庵幸勝子
田中後門玄鈞 寿

養母 清須孫之丞養女

実母 町医 永井良庵信章女

私儀後藤玄方子ニ御座候 後藤玄方男子
去ル御座候 元禄年中養子 安永八己亥年
十二月家督相続 仰付 天明二寅年
十二月廿八日 御目見 年々 御礼
申上 城詰 御薬 同八申年二月廿五日出仕
後藤玄方 同年十月二日 御目見 御城 小
普請医師之上 寛政三亥年八月
同見習 被 仰付 奥医師
仰付 同七卯年六月 医料

百俵高之内能勢亀次郎組御書院番組与頭

妻　養父仙石右京女

忰願　田中信相吉　三十

次男　田中銀次郎

右之通ニ御座候

寛政十一己未年　田中信門（花押）

清水殿付 御用立て
た
候

吉宗公
小笠原若狭守出

清水殿
七百文積〇　堀田甚五郎

小普請組
小笠原若狭守支配
田中龍之助

源姓

田中

家之紋　揚蝶

同替紋　石畳

幕之紋　同

清和天皇九代義重三男里見太郎義俊四男

田中三郎義清二代田中次郎入道経村法名田中次郎三

村より出申候得共村近く [illegible]

出羽 [illegible] 書上ケ候 年月日不知 [illegible]

右者焼失仕候ニ付以来歴代不知本国

丹波生国武蔵之々

久左衛門

信重

母　不知

妻　不知

台徳院様御代年月日不知　百石

東福門院様御入内之節上方住居被仰付

後石之人扶持 [illegible] 寛永三丙寅

年月日不知病死　年　歳　葬地法名不知

重俊

門右兄　始名不知　還称名　通可

母　不知

妻　不知

年月日不知京都ニ於テ出生　寛永三丙寅年月日不知

父田中久兵衛信守ニ従　仰付

東福門院様ニ相勤　正保三丙戌年　月日不知

女院様ヨリ称名ヲ以門兄ニ　不残御切米並扶持被成下候二人

扶持被下候處同相勤　寛文三癸卯年　月日不知

大地震ニ而右ノ後所兄成隠居　後付同

十庚申年　月日不知　病死　葬地　法名不知

信兼

門右兄　初名不知　還称名　将曹

母　不知

妻　不知

寛永十四丁丑年京都ニ於テ出生　父門右兄ニ従

御役料切米被下置　仰付相勤　延宝三乙卯年　月日不知

新院ニ御勤ニ人扶持被下　年月日不知

女五宮様御勤之節　仰付　延宝八庚申年　御入扶持

御用ニ相勤　人扶持被下相勤

病身ニ成御暇　天和三癸亥年

隠居　仰付　元禄二己巳年八月八日六十三歳病死

葬同所　法名　利清宗心居士

生年不知　俗名不知

信盛

母　同

妻　京都町住居京医師　藤林道寿女

寛文七丁未年京都出生

天和三亥年於京都父同前右衛門依願家督之

相続右衛門ヘ被預其後三丈被預

女五宮様御勤定御勤之節三庚午年

女五宮様御家老河東豊前守殿ヘ被預　仰付御法眼代

同右衛門殿ニ御預被遊其上三ヶ年右之通

江戸出府仕　河目豊前守　仰付置少猶

相願仕貞松院殿之家住御勤　同九丙子年

女五宮様薨去御同年江戸ニ罷下り小普請入ニ　仰付

松平丹後守組ニ入　同十丁丑年六月廿一日御勤之役

ニ　仰付御勤　宝永八辛卯年六月廿九日卒

病死　江戸市谷黒鍬谷常縁寺葬

法名　深心院殿光安亀暉居士

信治

源六

母　藤林道寿女

妻　御勘定組頭　吉田左兵衛女

年月不知　江戸出生

寛永八辛卯年四月廿二日父吉田左兵衛依願

御勘定松平主計頭組ゟ入酒井隠岐守組ゟ

享保九甲辰年正月十六日御勘定役　仰付和勤

同十五庚戌年十二月

禁裏御勝手方御用　仰付京都へ罷越

上京仕御用首尾能相勤候

禁裏為御褒美　同年三月御所御勘定役

和勤　同十七壬子年八月廿二日病死年五十五

女

早世　法名　光教院殿闡雲通暉居士

母　右同

享保十三年御普請役支配医師　松村道寿

本家女　年不知

敬忠

名左馬　初名源之丞

母　御勘定組頭　吉田左兵衛女

妻　小普請　池田市之丞妹　池田権左衛門長照女

後妻　寄合医師　望月三英　女

享保九甲辰年出生
同十七壬子年十二月廿七日父清右衛門依願跡式
右之通小普請内藤和泉守組江入
延享三丙寅年六月廿九日小普請一流
御目見江被仰付
同四丁卯年十二月三日小出河内守組与力被召出
小普請入被仰付勘定吟味役組江入
吉田左衛門組与力宝暦十庚辰年六月十三日
御代官御移代被仰付両丸
御勘定被仰付同十一辛巳年四月十一日勘定吟味役組

寛政同年
惇信院様薨御之節小普請方勤御番勤
同十二壬午年四月廿六日小普請組支配
組頭被仰付安永五丙申年四月目見
御社参之節御供被仰付
寛政七巳年組頭天明五乙巳年三月十八
六十二歳病死葬地菊川
法名諦文院殿法誉随唯居士

男子
早世

女子
母大同

女子　西丸御賄方　長谷川右衛門貞久妻

忠順　孟次郎

母　小普請組　池田市之丞女　池田権左衛門長豊女

母　同

妻　小普請組医師　三村良庵良之女

後改隠居後ハ何代

安永七戊戌年七月廿九日　部屋住ニ而召出

御番入　御切米百俵御足高百俵小普請

後十一組ニ入同年八月中奥小姓番方卒組ニ被成

天明四甲辰年十一月十九日病死年五十歳葬同

法名　徹学院殿安誉心徹居士

女　西丸小普請医師　吉田瑞玄明恒養女　吉田宗玄恒亮妻

母　小普請組医師　宮村良庵良之女

忠款　今太郎

父早世ニ付嫡孫承祖

母　同

妻

明和七庚寅年十一月五日出生

父孟次郎忠順儀天明四甲辰年十一月十九日

新番組ニ而病死仕候ニ付 祖父久左衛門敬忠儀
小十人組 柴田七左衛門組より御勤候 同年
十二月嫡孫養祖父跡目被 仰付御通り 仰付
同文化二巳年三月廿七日 敬忠病気ニ付願之通隠居
被仰付候 同年三月廿七日 家督被下置 小普請組
長谷川利十郎支配被 仰付 同年 支配
病気ニ付 男子無之 鎗之助
良顕儀 養子仕候 寛政七卯年
二月九日病死 葬地 同
法名 養光院殿前 蓮華院居士

男

早世

母 同前

良顕

鎗之助

喜太郎 実ハ忠款弟

実父 曲淵勝次郎忠頭之男

母 同前

新番組 永八巳年四月廿七日 先 父忠款

忠款 病気ニ付 御 男子無之 私

養子 仕 寛政七卯年六月十八日

家督 被 仰付 御 繕

私儀当丑正月時小普請組ニ被成大番入被
成候ニ付一己未年十月廿一日小普請組若槻弓之助支配
右之通御座候以上

高現米三拾石

本国 丹波
生国 武蔵

居屋敷下谷三枚橋

寛政十一己未年九月

田中龍之助 歳十一

系譜

寛政十年午正月十五日 四郎之

た

御目見 済

四郎之 田中太左衛門

藤原氏　田中

本国甲斐　唐臣　母後國之京
極家ニ仕テ後河州之庄在
〻名ト〻　享保年中　南部〻〻
依歎願　書院　経矢　御番　被召出

指物之紋
幕之紋　其丸ニ打貫
家之紋

替紋　丸ニカタハミ

田中孫兵衛　唐臣　男

唐一　田中孫兵衛

母　小笠原丹後守家士　田中六兵衛女

妻　無之

生年不知

厳有院様御代
寛文十一亥年十二月六日於御用
御殿御徒　甚田九年〻〻〻〻〻〻〻　甚
元和三年十月　御部屋ニ新入　之〻
御手〻〻〻〻〻〻〻歳

貞享元甲子年二月 森川(?)組ニ被入
其後七拾俵弐人扶持ニ被成
元禄七甲戌年十二月廿七日 牧野八之丞組ニ
而之九 御広敷添番 被 仰付
同年十二月 御加増三拾俵 都合百俵五人
扶持ニ被成
宝永二乙酉年八月 一統 小普請組ニ被成
松浦組ニ入 諏訪(?)四郎組ニ被
享保八癸卯年二月廿六日 死
葬所 四谷 道林寺 号 [illegible]霊

廣次

實父 田井喜兵衛
實母 同
實父 田井喜兵衛 養臣
實母 田井二郎兵衛 女
妻 河合(?)清兵衛 女
天和三癸亥年 河州ニ而 [illegible]

常憲院様御代 先手(?)廣一(?)組

桂昌院様御広敷御用相勤候実子無之ニ付養子仕候

本国頼

元禄十二卯年十二月六日 桂西門番頭中根

越前守組ゟ 通春子 作事奉行 阿部 一

豊後守殿 御広敷御用人 松田弥三郎へ被召

出同年八月廿一日 御広敷御用中山孫八郎

組ゟ大人之 作事 林藤四郎 組之節

吉之丞事 寛永二年 御勘定頭

享保八卯年四月廿一日 御用ニ付田中山城守殿

被仰付 小普請組 源五郎組ニ入

享保十巳年九月廿六日 蓮浄院殿御広敷

御用相勤 作事奉行 小野善兵衛組ゟ 御普請

相勤候 三拾五年相勤

享保十八丑年四月廿七日 小普請組 内藤組より

組入 金田主殿組ゟ

宝暦八寅年九月十九日 隠居

明和元申年六月廿一日 死

墓所 門寺 号 逸道

広寿

田中久太郎

母　三之丸御廣敷添番　河合清右衛門女
寛延三庚午年六月廿七日死
葬于小石川光岳寺　号現夢

廣布　田中五左衛門

母　同上
妻　小普請方改役　八木彦十郎正名女
享保十三年三月廿一日生於江戸
兄田中五郎右衛門後宝暦三酉年六月廿七日
死同七月父左右衛門願之通跡目相續
宝暦八寅年六月十九日家督西丸御[illegible]
被仰渡小普請金田主殿組入
同九卯年二月二日富士見御宝蔵番[illegible]
被仰付西丸[illegible]被仰付[illegible]組
死歳
明和五子年十二月廿八日羽田源右衛門組
死[illegible]二[illegible]二年[illegible]
天明元丑年十二月[illegible]小普請組[illegible]
大[illegible]組入
同二寅年十二月二日隠居
寛政四子年二月廿八日死　号[illegible]　葬于四谷[illegible]寺

女子　母ニ同
千田永雅妻

寛明　弥之助

継母　田中左兵衛女
実母　家女
妻　岩村平左衛門長顕女

宝暦五亥年十二月十九日生江戸

天明二寅年十二月六日於躑躅間松平周防守殿

御目見

以小普請組小笠原大隅守組ニ入

同七未年二月十一日御勘定吟味方改役被仰付

高段役益之　御作事小普請被下

御借

同八申年八月十四日於　御前一同御勘定吟味役

支配之　御作事奉行支配勘定之　御作事

松平摂津守殿於御前保田佐渡守

申渡之　支配勘定吟味之　番頭之　御成

寛政九巳年三月十七日目見

江戸入屋御普請中日光御社御修復之　御作事

松平伊豆守殿於御前同役ニ加ル

同十年午年三月廿六日御勤之ニ　作料勤之内
並之通御足高ハ十日之節ヨリ諸勤役
共並之通支配ニ而格年何茂ニ成候得
御後日之書付ヲ以御勤之節ニ成
其外ハ細ニ而當年迄御座候拾三ヶ年
相勤申候

一
寛延元年辰閏十月支配ニ而門院御殿
服之百俵ニ而昔ヨリ相勤候節御供仕候
宝暦十辰年十月廿六日文右衛門高並
同宝暦十二年長谷部組相勤候由後御付

神尾備前守　支配　山城町　九十八俵三人扶持
同役屋敷相勤罷　作料
安永六酉年同野田源太右衛門
組之節小菅佐渡守小笠原若狭守
組支配田源太郎同所之組下
扶持之同役屋敷ニ付之通相勤罷
之　作料
一
支配勤之相勤申候
天明九酉年四月廿五日長兵衛
同養子門司山田九郎兵衛　作料名代控

傳法之儀ニ付候
寛政元酉年閏六月十八日右同月游方
觸頭十ヶ寺并同人江申渡ス
同二戌年正月廿三日
禁書所所方ニテ御当番僧俗方江理候
保升寺 松平和泉守殿ヘ伺之上持出
之趣正申候
同年十二月廿八日右游方法類寺松平和泉守殿
江伺候触頭寺江渡ス
同三亥年七月十七日御触出所 御達書渡

此度正所用掛 保升寺右同人江付
之趣持出之正申候
同年十二月廿二日右游方法寺 松平
和泉守殿ヘ伺之上触頭寺江渡ス
同四子年正月十三日 外宗寺方御達書渡
此度正法用掛
同月廿七日 持参所納戸伺所御用掛
同四月二日元寺社納戸同所御用掛ニ
保升寺 松平和泉守殿ヘ伺之上神宮寺
支配之世話法之元掛高世納戸人寺し持出

主税江申渡

同五丑年正月廿四日右之者共出国願ニ付
杉平和泉守殿江伺候処願之通被仰付
同三月十四日先達而被仰渡候ニ付江戸ニ罷
出候者右出国人々ハ伺之通播磨長門守
申渡

同六寅年二月六日光之書ニ而子細有之
杉平伊豆守殿江伺之通被仰渡申渡候
同三月十七日右出国願之儀ニ付杉平
伊豆守殿江伺候全出精勤方も宜候ニ付

御用相勤御奉公之 被下置出国江戸ニ罷
出御用相勤候ニ付
同七卯年正月廿七日右病気ニ付出国願
掛合ニ付候者右出国人々ハ伺之通出世
申渡候
同二月十日右出国願之儀ニ付今年中為
杉平伊豆守殿江伺候得ハ
同八辰年正月十二日出国願ニ付
江戸ニ罷出候者杉平伊豆守殿江伺之通
同文庵へ申渡

同月廿二日大坂銅座立会為御用済ニ付
出府致帰府候処被仰付御褒美被下置
同九巳年三月十二日同之
御用之節御役中日光御手行列御役
〻御所ニ而松平伊豆守殿ニ御渡御褒美被下
置候よし済

同月廿五日大坂ニ而銅座御用ニ付戸田
采女正殿ニ御渡金弐枚拝領之

一 当役ニ被仰付 同之

[illegible]

同十年六月新ニ銅座御用掛り被仰付
同日見ニ 御月
同月廿三日御用部屋ニ而松平伊豆守殿
御渡金弐枚拝領之
同年十一月廿二日日光御参詣御供
御用被仰付松平伊豆守殿ニ御渡
出前同様ニ被仰付候
同十一未年六月廿二日大坂銅座ニ付
松平伊豆守殿ニ御渡 御褒美二 金弐枚拝領之
[illegible]

廣瀬

母　田中久三郎
小普請　中村彦右衛門長顕女
天明四辰年五月十八日於江戸表出生

右之通ニ御座候

高百六拾俵　本国 尾張　生国 武蔵
内弐十六俵　四季施
浅草御蔵　牛込払方町住宅仕候

寛政十一未年十二月

田中太左衛門　印

当十二歳
長田猪之助組出

右名前書

大澄

従氏
啓八高○田中某

西丸小十人
長田猪之助組
田中清之丞

源氏

田中

源姓頼清流ト申候不知　紀伊国ニ出生

田中何左衛門貞香忠順

家之紋　六角之内橘

幕之紋　右同

替紋　立葉牡丹

田中何左衛門貞香忠順

貞國

何之丞

母　不知

妻　不知

紀伊国若山ニ出生

年月日不知　紀州南龍院殿清渓院殿

二代ニ仕ル

延宝四辰年十一月廿六日病死仕候

貞春

何蔵

母　前同不知

妻　紀伊殿家中　金沢平内女

紀伊国若山ニ出生

年月日不知紀伊清渓院殿高林院殿
二代ニ仕罷在候
右享保六丑年十月廿七日病死仕候

理右

貞村

母　紀伊殿家中　金沢平内女

妻　右同　田村甚九郎女

紀伊国若山ニ而生

正徳六申年二月二日紀伊中納言殿抱入

組格相勤罷在候年月不知

享保元申年十月十八日小笠原殿御用掛ニ而

新番入被仰付候

同年十一月二日御本丸御座敷御番衆被仰付

此外御切米拾俵三人扶持被下置候

同二酉年二月廿五日勤仕

有徳院様御目見仕候

同三戌年十一月廿六日御用達被仰付

同四亥年二月廿七日御七夜御役替

被相渡候

同年九月廿八日小納戸格之様頭衆

浄頓信女
享保五子年四月那須大学ニ縁組仕
而離縁仕候
同十二未年十二月六日病死 六十二 芝増上寺
地中貞松院ニ葬 号光色院梅林慈恩大姉

女子
名寿
母 紀伊殿家中 田村甚九郎女
阿部飛騨守家来長坂権之丞ニ嫁
同十七子年十一月六日病死仕候

女子
母 右同断
理兵衛貞宣妻

女子
母 右同断
早世

一ツ橋殿家来相勤候江
宝暦二申年二月十七日病死仕候

貞宣
始六之丞 後理兵衛
実父 片岡忠兵衛信冬二男
実母 当家来 柳五兵衛女
妻 養父理兵衛貞村女

江戸ニ而生
享保四亥年十二月 吉徳様江御奉公ニ罷出
御歩並ニ而扶持年季ニ被召出
同五子年九月十九日 新知御給分被下
吉徳様ゟ御目見帰
同十三申年二月十四日 表御次番ニ而
小書院御丹州様組入
同年十二月廿二日 小将人組ゟ当入 同年
同支組ニ入ニ付改 酒井与兵衛組ニ被仰付
延享二丑年八月廿八日

重煕様御逝去迄 御附勤并ニ御逝去之節御供
寄合組
同元辰年十二月廿六日
重教様御逝去ニ付 同年四月十日一統小姓組入
当座並組ゟ御馬廻組ニ被仰付
寛延二巳年六月廿二日 小将組 改勤ニ付
酒井与三兵衛組ゟ御番頭一色源太郎組ニ被為付
明和二酉年十二月廿八日 老衰ニ付 当分
御免 年寄迄 表勤ニ付 宇野源太夫組被仰付
小将組 堀之三郎兵衛組ニ被仰付

同十二年六月廿一日病死　行年七十七歳　同所ニ
葬　法名了照浄顕峯

貞尚

玄変

母　[illegible]貞村女

妻　二度目妻ナリ　向須孫三郎勝則女

江戸ニ而出生

明和元申年十二月十六日　亡父家督被下置

父知行之通　壱番勤仕内　下役被仰付

安永三年西丸表坊主被仰付小普請入

当入支配ニ付被仰付　以上

同十二子年九月十六日　文庫同心　被仰付

支配勘定組頭被仰付

安永八亥年四月廿六日　御勘定組頭　被仰付

天明元丑年六月廿六日　西丸勤　被仰付

同六午年十七月廿八日　御勘定吟味役　被仰付

連ニ而　御勘定所御役御免　同年十二月廿八日

御勘定所出役之御役御免　入

寛政七卯年六月十四日病死　行年六十九歳　同

所ニ葬　法名　徳積院慧光

貞時　左門

母　家女

安永六丙年六月十五日於江府生

貞寿　孫之丞

母　家女

継母　向坂藤之助勝則女

妻　永田光業東部女

江戸ニ而出生

安永二丙年二月廿日　貞綾次男称須作

寛政六寅年十二月十六日浅野紀伊守殿ニ而百生

父病気ニ付為名代於江府御目見

御目見得仕候処被為　名代仰付候ニ付於江府

能勢主馬組ニ入

同七卯年八月三日父跡目　作紀

同八辰年十二月十日

作紀同月廿二日病死於江府

養君様御附

貞唯

母　家女

若狭

女子

小笠原

浅元経郁高久妻

二條家御内
宮崎隆吉郎妹

母

右之通御座候

高百俵拾人扶持　本國 紀伊　生國 武藏　御勘定組頭[illegible]

内　御足高三拾俵
御役料七人扶持

寛政十一未年十一月

田中孫之丞　四十七

天明二寅年十二月廿八日
家督[illegible]

系譜

た　之文之ノ四
添
[illegible]

蔵米取
八百九拾[illegible]○[illegible]

小普請組
宝暦[illegible]
田中[illegible]

荻系姓

田中

姓之儀後胤ニ而如何様田中相傳申 上ゟ傳候

書面之年來續之儀委細不相知

幕之紋　三ツ巴左廻り

家之紋　右同断

替紋　蔦

武左衛門荻勝父何方ニ而生候哉浪人出門

同主法相勤忠家之紋蔦替紋付候

松平右京亮家来武左衛門

荻勝

父何方ニ而生候哉浪人出門前主浅野勝兵衛

中傳候不相知

母　田中勝治郎忠保女

右母方両親共未相知

妻　同藩浪人　田中孫兵衛女

荻雅 マサ

宗之

母　同藩浪人　田中孫右衛門女

中奥番人
妻　前田市左衛門女
延宝二甲寅年江戸生
此父竹之丞松平主殿頭家来ゟ相勤

常憲院様ゟ
元禄六癸酉年六月廿二日小普請伊兵衛組入
西丸
宝永三丙戌年十二月廿三日小普請伊兵衛代
組頭ニ　仰付
正徳二壬辰年七月廿二日小普請人足頭
支配ニ　仰付
同三癸巳年十二月廿一日書院番ニ　仰付
享保二丁酉年三月十日御徒目付ニ　仰付
同十三戊申年六月十三日御徒目付組頭ニ
仰付
元文元丙辰年六月廿日御広敷番頭ニ
ニ　仰付
同四己未年十二月廿日病死　同月十七日
六十六歳　芝大泉寺葬
法名　善得院節心良忠
但シ葬地ハ御目見以上之人者御下ゟ

元禄元辰振續四月朔日相續 於合力米壹俵
三人扶持 五拾俵 御役料四月朔日 享保十年
彌焼之節書留 焼失ニ付不知

女子 田中宗之丞前雅妻

女子

母 中奥御坊主人 前沢市左衛門女

松平(?)見 福田勘兵衛 妻(?)藤妻

女子

母 古川氏

小普請組 内藤宗助(?)死

小普請組中山平(?)右衛門 永野義寛妻

母 三河(?)

義雅

宗之丞 初名(?)之助

養母 前沢市左衛門女

實父 加納久右衛門忠次男

實母 中奥御坊主人 高橋忠兵衛(?)女

妻 田中宗之丞前雅女

寶永元甲申年十月十一日 継加納(?)氏

右前雅義續之為御在府(?)其節壽(?)之丞

拾八歳

元文五庚申年三月十一日 養父後(?)目(?)

御付小普請信濃守組より三宅周防守組与成
寛保三癸亥年六月十一日青山石見守様ニ而
御目見
宝暦九己卯年十二月廿六日出勤ニ付於
御出来判三枚頂戴仕候
安永九庚子年六月廿六日富士見御宝
蔵番ニ被成 御役料
寛政元己酉年四月前備中守様之御勤定
祐筆支配ニ而被為仰付御役料年六
月十五日卯 御付 御細蔵雑役

養子

実父 御代官門平七 某死
御普請方松平細井与 御役人 土屋甚
兵衛 伊藤与十郎殿ニ而養老衰仕ニ付達
御目見之処
寛政四壬子年十二月十七日願之通 御付
年寄之処 御勤 大判 被仰付小普請組
石川 病死 文政四年三月廿八日 八十八歳
病死 芝 大泉寺ニ葬 号 智光院
寛 組 保寛女 同 妻
母 小普請小普請 某 小普請 保成女

養女　養子田中宇之丞茂房妻

母　実ハ若原田中金三郎茂保女

　　田中宇之丞茂雅養女

実ハ小十人組与頭三之丞組小出左馬之丞保宜女

茂保

金三郎

母　田中宇之丞茂雅女　祖父

妻　小十人組与頭三之丞組小出左馬之丞保宜女

延享三丙寅年八月十八日於江戸地ニ生

右茂保家督年月無記

隨明院殿様ニ相勤　同月日死去

安永五丙申年十二月廿九日新番衆被

西丸表右筆ニ被仰付同年被成下置

新部屋ニ而被仰付

天明四甲辰年八月十二日二十九歳ニ而病死

法名清誉浄信葬于駒込海蔵寺

女子　養子田中宇之丞茂房妻

母　小十人組与頭三之丞組小出左馬之丞保宜女

女子

母　小普請組松平新次郎支配篠原八兵衛妻

苗門

茂房　宇之丞　初十三郎

養母　養祖父　田中宇之丞茂雅女

実父　小普請組青山主膳支配　義村茂兵衛勝真四男

実母　小十人組中嶋百助組　義村七兵衛蒲幸養女

実方高祖父　養父小十人組従勤　義村組

義村重左衛門養体女

妻　養父　田中宇之丞茂雅養女

実方養父茂雅妹顕　田中金三郎茂保女

明和二乙酉年六月十日江戸生

安永八年続　　　十八歳

天明五乙巳年十二月十一日於

浚明院様御代　御目見仕

寛政四壬子年六月三日養父跡式無相違

小普請組石河土佐守支配被仰付

亡祖母死去

組三番頭養祖父田中宇之丞茂雅跡

同年番入

享和元庚子年三月十八日新御番

高谷組

小普請組石河土佐守支配

寛政五癸丑年有章ニ付跡絶家跡絶
小田原町罷居候所居屋敷相続仕候依付
右町役代目之相続之所罷出候ニ付書上
少將之式家中北名

荷哉

荷良

末流弁

母

養父
岡戸〇文荷雅養女

実父荷雅初役田中三郎荷保女

右〇

母 北白河

右之通相違無之

高六振〇 南関伸中
生國 武蔵
三人扶持

右者亀縁組例〇〇小田原町
右之者高座〇〇〇

寛政十一己未年

岡戸〇文 三十六才

あと二十九丁
東門御叙々出

壹番代
八百九拾三〇 堀田定吉

京橋

宇陀唐見
大 四ッ八ツ二て 塚
蓋新

小竹役組
東門成叙之節
田中与兵衛

菅原姓

田中

先祖田中与右衛門清長様ゟ出頭之節と

十文字書面右門之織田信長公ニ仕信長

御滅亡以後加州御家ニ罷下り今士分ニ而罷在

替之紋　亀之丸花菱

家之紋　大田印

替紋

清長忠次

清次　某菅原中之字

母　不知

妻　不知

寛永ノ頃ゟ加州御家ニ罷在

神尾讃州様御与力　日向守ニ仕　御用人被仰付

味之ニ

元和八寅年ニ　大坂御陣ニ御供仕

御家ゟ関東ニ入国ノ後之砌加州小田

原ニ于隣ニ罷在衛門

神尾衛門之丞相勤ニ付　其後信仕関東ニ

入国之後信仕　相続之処ニ加州

玉縄之御門城番相勤候処 右御城松平
右馬允殿江御預ケ被仰付候ニ付 御番被召放
文禄元辰年八月廿三日ゟ同心被召抱
段々御城廻り御番相勤候
慶長五子年関ケ原御陣之節 御供
御本丸御番衆入相勤候
御番衆御本丸之門御番之外并御花畑
御書院番入 組頭相勤候 御西丸御殿
御本丸御殿御務候為被仰付 并御清書
衆合并大之間御番相勤候 御奉公相勤

小身之者ニ付御入相勤候者共悉仕
以之付[illegible]
寛永七午年十月廿八日
御本丸御書院ニ而切腹被仰付候
萬治元戌年六月廿七日病死 市ケ谷
谷町 東円寺ニ葬 号速蓮院道運

清之
市郎
母 不知
妻 同断

年月日不知　江戸生
宝永元申年七月十一日　父跡式無相違
御本丸御書院番　切米被下　御付御勤仕
病身ニ付　御役御免
貞享元子年十月廿七日　御役御免
元禄六未年十一月廿二日　病死　葬所　浅草
法名　清性院　道誉達堂

清貫（ツラ）

有年

母　不知

妻

万治三子年二月十八日　江戸生
貞享元子年十月廿七日　父跡式無相違
御本丸御書院番　切米被下置　御付
元禄十一寅年六月廿一日　進物番　御書院
宝永　同七年年二月廿三日　進物番之通
御付　御本丸御書院番　切米二人扶持
七月迄
享保二酉年六月廿六日
病身ニ付　御役御免　御付御勤仕
同十子年七月十六日　六十一　病死　葬所　同前

清久

養父 廣大院寛譽春行

松平兵馬 前名

母 家女

妻

元禄元辰年十二月九日 江戸生

享保五子年十二月廿六日 父跡式被下置之

戸田山城守殿於御座之間 小普請大嶋肥前守組

入 大久保下野守組 之 宝暦二年 御目見 仰付

由之ニ付 下被仰付 其後 七月 ...

御取下為小十人代 御番入

表御番組被仰付 之子年 御勤

享保十六亥年十一月十六日

表御番組附小十人組 御番組 ...

[illegible]

桂 ... 御下 ... 年 ... 組 ...

同 ... 年 ... 月 ... 年 ... 年 ...

[illegible]

... 被仰付 ...

元文三午年 ... 月廿六日

直喬殿同日御前に召出跡式被仰付
於勤新御番組ニ被仰付此上相勤
同月廿三日於御館被仰付候旨被仰出
之後全成方部屋住之節被召出小
普請入其後被召出
寛延三午年十月廿八日小普請入被仰付
同年家督建相勤御届申候小普請組
戸田内膳正組へ入
宝暦元未年十月十日隠居被仰付同月
九日隠居辞候

幸傑

宝暦三酉年十一月廿一日二十六病死法名
同寺葬号量性院源参海円

妻

母　家女

右新兵衛死後再嫁

寛保三亥年二月廿日病死

清佳ヨシ

猶次八郎　角（名）

養母　家女

実父　元二九（□□）　稲（□）勤三郎定富三男

実母　　　　　　　　　　宗女
妻　　　　　　　　　　　田中彦五郎養女
享保十巳年六月十七日江戸生
寛延元辰年八月　松平大膳大夫家来
建部伊織組ニ勤仕候田中五右衛門ニ引取
右田中彦五郎同人養女ニ而婚姻[illegible]
同十一年四月　御作事方　牧田[illegible]
田中家老建部伊織ニ被申付候ニ付
小菅信濃守御代官組ニ而[illegible]
離縁

宝暦元未年八月九日隠居　御作事方
角右衛門九右衛門　松平大膳大夫殿
御領小菅信濃守御代官組入
同三酉年七月十一日　牧田[illegible]
同九卯年十二月[illegible]
同十二午年十一月十一日[illegible]
松平右京亮殿[illegible]
天明七未年三月廿七日[illegible]
ト　御作事[illegible]
殿[illegible]

女子

寛政元酉年正月廿二日出生仕候處
相届候中奥御小性酒井石見守殿取計以
寛政八辰年迄三歳廿二年御勤務老衰
仕候ニ付　小普請入被仰付同年十二月十一日小普請
組入之仰付　年々金五両御勤候ニ付　白銀
拝領之事金五両拝領　伊豆守殿ニ而被仰渡
小普請組松平下総守支配文化同年十一月
廿二日病気ニ而病死菩提所白山ニ葬
法名　唯真院寂誉和敬

元小普請組支配上席表御番
嫁　長谷川信妻

嫡孫　ツ子方

母　家女

浜継吉弁　七九郎　右衛門

母　田中藤兵衛次女

宝暦二申年十二月十日江戸ニ生
私義父角兵衛之御勤中実家ニ罷在
天明八申年八月十六日御徒新規御勘定ニ
新監　文元酉年十二月御役御免而仕候
為報　拝領候付御勤又小普請組仰付
御断　尤ニ御座候

女子

寛政八辰年十一月病身ニ付依願
無役ニ而日光奉行組被仰付候
戸田采女正殿ニ仕候同月勝手並ニ通
此見届ケ相頼同人ニ仕候ニ付己年
通十一年相勤ニ而眼病ニ付願ニ而小
普請入願
同十一年六月十三日小普請入ニ付右ニ付
戸田采女正殿ニ仕候拾弐年二付死ニ入
同年八月十二日病死 行年
小普請組山口勘兵衛支配 長妻

母 前同断

弘久

始終
養母 無之
実父 安間治兵衛
実母 安間伝兵衛娘 女
妻
安永八亥年十二月晦日江戸生
御目見未仕
元御徒 谷津 橋 百俵

右紙絵作代ニ而頂戴仕候私義年行事紙
大坂屋名前
寛保元酉年行事紙屋文蔵与申田安
小普請建部伊織組御勤仕来候者太足
御支配頂戴罷在候両国米沢町二丁目十
坪拾坪借地仕来候得共当時仲間紙
右通り御座候

高野稲信
北人信与

南国 右衛門
生国 武蔵
居住

深川南本所町二丁目二十坪

寛政十一未年十二月

甲州屋忠右衛門 印

右同十八

十二月晦
渡辺平十郎支配

系譜

寺氏
武蔵三庄之助
堀田豊前守

同八月十二
大 浅
平野

小普請組
渡辺平十郎支配
田中亀松

平姓

田中氏

先祖田中若狭守儀武蔵国住居仕候由承伝候
平姓ニ御座候得共一家系図等之儀ハ元禄
年中類焼仕候節系図並書付焼失仕候由申伝
細之儀委細相知不申候

幕之紋　万字

家之紋　三ツ巴

替紋　丸三ツ柏

正忠　田中若狭

母　不知

妻　不知

年月何方ニ而出生仕候哉不知

権現様江天正九巳年月日不知御奉公ニ出　至相勤

慶長十七子年月日不知二病死仕候由申伝

之後隠居、相続年月日不知病死葬地不知

法名不知

正永　孫右衛門

母　不知

妻　不知

年月何方出生仕候哉不知

台徳院様御代慶長十七子年月日不知父[illegible]

當代罷出御番方相勤寛永十七辰年

月日不知病死葬地并法名不知

正高　三左衛門

母　不知

妻　不知

年月何方ニ出生仕候哉不知

大猷院様御代寛永十七辰年月日不知父三左衛門

跡式無相違被下置如父時御番方被仰付

元禄二巳年月日不知病死葬地法名不知

正義（ヨシ）　儀兵衛

母　不知

妻　不知

年月何方ニ出生不知

常憲院様御代元禄二巳年月日不知父三左衛門跡

式無相違被下置如父時御番方被仰付

元禄七甲戌年三月廿二日年五十歳病死
葬地 浅草 [illegible]

勝澄

十八歳之時 [illegible]

養母 無御座

実父 御鉄砲方 野呂[illegible] 忠[illegible]

実母 不知

年月日何方ニ而出生不知

常憲院様御代元禄七甲戌年三月 跡目被仰付 御鉄砲方相勤
[illegible] 病身ニ付 [illegible] 元禄[illegible] 病死

[illegible] 御役 [illegible] 被仰付 [illegible]
[illegible] 年 [illegible] 年三月廿二日 病死 同年
閏月 [illegible] 御鉄砲方 [illegible]
元禄十二卯年 御役代 [illegible] 御赦免
[illegible] 仕 [illegible] 子年 九月 御鉄砲組 [illegible] 被仰付
[illegible] 御扶持 [illegible] 被下 [illegible]
[illegible] 被下 [illegible] 十一年 十二月十六日

[illegible] 御鉄砲 [illegible]
[illegible] 未年 正月 [illegible]

御目見仕 同年二月 [illegible] 文四年
十二月廿二日 [illegible] 被仰付 [illegible] 候

同十六辛亥年二月十六日二十八歳ニ而病死
葬地 同所 浄花成等院 法名
勝喜ヨシ
兵馬
母 家女
妻
年月日何方ニ出生不知
有徳院様御代 享保十六亥年六月十二日 父之跡式
相続之 無高名 松平伊豆守殿 御番小普請
江入 支配内藤 組江入

八

宝暦三酉年七月九日浅岡氏妻部屋ニ而
病死 年月日 同巳年十二月廿日
作 同巳年二月廿五日病死 未
葬地 同所 恵明院ニ葬

勝正
熊蔵
母 家女
妻
年月日何方ニ出生不知

惇信院様御代宝暦四甲戌年十二月十一日父武兵衛跡式被仰付
御広敷 被仰付候而御広敷添番
浚明院様御代小普請組〜〜組頭
成宝暦十三年九月廿八日一統
御目見之上 被仰付
同七丁丑年九月廿九日病死葬地〜寺
法名 智了院妙清

八

勝直

寛三年

養母 〜〜

八

実父 〜〜氏 〜〜氏猶兵衛

実母 不知

年月日何方ニ而出生不知

惇信院様御代父田中〜〜宝暦七丑年九月

病気ニ付〜〜被〜〜

養子ニ〜〜同月廿九日病死同年十二月

養父〜〜〜〜

浚明院様御代父〜〜時小普請組〜〜

〜〜成年月日〜〜

明和二丙年十二月廿一日病死葬地〜〜

法名　量性院法山

氏春

母某氏

吉兵衛　斎宮

実父　本多勘定　某門之助義氏二男

実母　畢某之娘　横山石見守某女

宝暦四甲戌年三月十一日江戸ニ生

後別隠様附代吉兵衛異存ニ付明和二乙酉年六月

二病気ニ付同年六月　安藤出羽守殿江御届

寛政四年七月廿一日病死同年十月

六日吉兵衛跡目　御番所御勤

松浦甲斐守殿ゟ書付を以御呼出

寛政八辰年十一月十一日

御役替ニ付　病気養生願　御法名智仙院量秋

氏久

二男

吉兵衛　斎宮

実父　同

実母　同

明和三申年七月廿六日江戸ニ生

浚明院様御代 養祖父 田中宗左衛門 小普請組戸川
山城守支配ニ而 安永八亥年十一月病
気ニ付 同年 男子無之 同人姉聟三浦弁
実方甥ニ而 養子願置 同月十
六日病死 同年十二月廿六日 養父跡式
無相違 杉本周防守殿被仰渡 如養父
時戸川山城守支配 天明二寅年十月廿八
日 中奥番 相勤 天明四辰
年十二月願之上 病死 葬地 寺
浚養父 清

一 好直
養祖
養母 無之
実父 小普請組 堀田 次男
実母 小普請 中川忠兵衛 女
安永七戌年九月十一日 江戸出生
浚明院様御代 私養父 田中宗兵衛 厄介ニ而 天明年
十二月病気ニ付 男子無之 私儀
実方 続之 養子 同月
十二月廿六日 養父跡式

祖父金龍院死ス
寛政十年十二月廿九日海邊平龍院死ス
右之通ニ御座候

高三拾俵弐人扶持　西田伊豫
生國武蔵　浮世絵師
当時小石川……町……
御宮仕……勤……
同人悴……

寛政十二年十一月
田中　松（未二十三歳）
[illegible]

未三十八
岩知……

……
八……

先祖書

た
（寅……）
……郎

小普請組
山口勘兵衛支配
田中　松

本多氏　一　田中

蕪之紋　丸ノ内黒割菱
　　　　丸ノ内十文字
梶之紋　丸ノ内黒割菱
鶴紋　丸ノ内十文字

元祖田中平蔵　名不知　少納言伊勢国出生不知法名不知
実名不知　法名不知

名乗不知　田中平蔵

母　妻　不知　生年　不知

能登守代官長右衛門己酉年月日不知　右出外之列
四郎左衛門伏見御城番ニ被仰付　寛永年中
月日不知　病死寺不知　法名不知
位不知　出生初ハ寺不知　年月日

一

葬地法名不知

名乗不知　田中八左衛門
山田氏ノ娘　四郎ニ嫁
実父　母　妻　生年月日不知
台徳院様御代寛永六己巳年月日不知　右出仕
ゝ御出
天樹院様御附　寛文五乙巳年月日不知
清揚院様御附人　延宝二年　貞享二年
庚申年月日不知　葬麻布寺町
戒名　照院

右系不知　田中源八郎

母　妻　生年月日　不知

教有院様御代寛文十戊辰年月日不知八幡御同心被召出

方相勤

文照院様宝永元甲申年月日不知病死　入八郎

清陰院任門勝前役相勤其後御同心被召出

修村享保九年相勤正徳甲午年月日不知卒

歳不知葬所号寛意院妙寺

右系不知

母　不知

田中源八郎

文照院様御代入源八郎跡目相続仕候

就剰被仰付

十左衛門家

右系不知

田中源八

養母　不知　次男

実父　鹿妻　寺沢　女

妻

生年月日不知

有徳院様御代正徳甲午年月日不知養父源八郎跡目

御同心被召出相勤

享保庚子年二月十八日卒歳不知葬所

寛心院宗全

田中孫六八

忠義

養母　寺沢源左衛門　女

養父　黒田安之助　三男

妻　浦野安左衛門　女

生年月日不知　享保丈庚戌年二月養父源六八

病身ニ付養子願之通被仰付　同月

十八日家督　同年六月廿八日養父願之通御番入

被仰付　享保八卯寅年十月御留守居御番入

同十二甲申年四月隠居

御機嫌伺ニ付被為召候

延享二乙丑年九月朔日御役儀被仰付候

同三丙寅年三月十一日御前組頭

一 浚明院様二ノ丸御近習被仰付相勤候　御切米九

御近習ニ而介添被仰付　享保四丁卯年十一月廿八日

御書院御番被仰付

浚明院様御膳奉行兼　寛延二己巳年二月　日不知

心観院様御用向ニ而宝暦御近習　同元辛未年八月

日不知　御用掛　被仰付　宝暦三癸酉年十月九日

御膳奉行御番頭御役御広敷御用人

右御役御免　宝暦十庚辰年四月朔日

浚明院様御葬送ニ付　御近習御供被仰付

御勝手ニ付御目見被仰付死去　被仰付　大奥

此墓所新規ニ 作右衛門山本養父右止内忠之申
年廿一月四日 御幕府行ル、 作右衛門伊兵衛伝
此外十四年相勤寺丞二癸巳年十二月四日死
歳七十 葬同所、 法名 ○顧院義観

忠章 タダアキ
初名三郎 後名八
母 ○納方○○家臣 渡辺○安兵衛 女
妻 ○○○○家臣 高松○○義隆 女
惇信院様御代宝暦七丁丑年三月廿六日 御目見 安永
二癸巳年十二月廿七日 父遺跡 御○○○信
○○○○○○死去 寛政八丙辰年四月廿三日死
歳三十 葬同所 法名 ○観院了○

○○ 小十人 長谷川○○○妻

正能 マサヨシ
初名○○
養母 高松院○○ 女
実父 ○○○三郎○○ 雅徹
実母 ○○河○○○ 女
妻
寛政八年四月宝年二十九父○○ 御○八○○男子父○
○○○○○○○十一月○○○ 御○○○八
同辰年四月廿六日父死 同年月○○○○○
○○○○○○○ ○○父付○○○○○○死之○

養父 浅草八丁堀 [illegible] 所 伊丹 [illegible] 左衛門 [illegible]

[illegible] 住宅 [illegible] 組 [illegible]

石川 [illegible] 所 [illegible] 寛政十一未年三月十九日 [illegible] 行年

養母

寛政三亥年九月朔日死 葬同所 号 [illegible] 善

田中 [illegible] 之助

忠武

兼栄（ヨシ）

実父

今井 [illegible] 郎左衛門 次男

右之人 [illegible] 元禄 [illegible]

右兼栄 [illegible] 宝暦 [illegible] 年三月 [illegible]

[illegible] 享保 [illegible] 年 [illegible] 月十七日死 葬 [illegible] 小新

[illegible] 号 智 [illegible] 岳山

延享三丙寅年二月 [illegible] 代 [illegible] 候

住居 [illegible] 不申候

右之通 [illegible]

高 [illegible] 拾人扶持

[illegible] 国 伊豫

[illegible] 国 [illegible]

[illegible] 住所

[illegible] 長谷川

[illegible] 住宅

寛政十一未年十二月

田中 [illegible] 印（年三十七）

一系 吉川市九之丞

甚兵衛 八百九郎[illegible]〇[illegible]

系譜

たゝ 元治元年丙寅年[illegible] 度[illegible]

[illegible]丙寅年[illegible] 田中[illegible]

高麗郡

甲斐　一右之者御中小姓　幕之紋　丸ニ桔梗
　　　　　　　　　　　　家之紋　同紋
　　　　　　　　　　　　替紋　十文字

元禄五年不尚年ゝ中奉公相勤、元禄　甲斐――八王子
宝永元年中ゟ御広敷御徒組頭
天和元年御厩方御用　御小姓
御広敷御納戸番方　御徒士
　　　　某ニ山口某娘之姫　甲斐養子　元禄五年

甲斐養二男
某
　　　　　　実子
　母
　妻　武州中里村百姓　七左衛門女
年号月日　元禄元年　病死　宝永二年ゟ
八王子御広敷桜田御殿ニ而二男ゟ桜田
御殿御広敷方　並而御切米拾五俵三人扶持
拝領元禄元年八月十六日　亦而右之号
御広敷宝法

某
　　　実子
　母　　　　　　百姓　七左衛門女
　妻　武州中里村百姓　後妻
元禄元年十月桜田御殿ニ而御切米拾五俵三人
扶持拝領宝永元年御広敷　並而右
ニ付元禄年中ゟ御広敷相勤

政承　新之丞　清十郎

母　牧島女

妻　小普請方　日田由七郎女

元禄十一寅年十一月廿六日生江戸同所ニ而宝永年御目

見小石川ニ而享保三四年十一月　御膳奉行小間遣手

保十三申年四月晦日　御意ニ而文元辰年十一月廿五日

若殿様御附御台所人ニ而御台所御賄役被仰付二人

扶持被下置候ニ而相勤候处寛保四子年

四月廿日宗役御役所役勤年中勤候

明和元申年十二月　若殿様御附勤候

唯今迄ニ通リ御殿ニ相勤候力所ニ而年同所ニ而

御役寛十二月隠居継安永

四未年十二月十一日死十八年瑞院

秀実

十七郎　十太郎

母　日田氏女

妻　町医　山次永寿女

享保十一巳年八月廿三日生江戸元文五申年

十月廿一日　御台所人ニ而　御賄役

寛保三亥年十一月　御台所人　御賄役十俵

被仰付候ニ而相勤候　寛延二巳年

正月

一 曲淵□□□□人ハ御目見ニ而□□□□□□
候 同年七月十六日御目付ニ被仰付 宝暦八寅年十二
月十六日御目付被仰付 宝暦十辰年十月朔日西丸
御使番 松平□□□□□ 宝暦十一巳年八月二
御目見 御膳奉行 □□□□□人 松平□□□□□
明和年七月十六日 御目付明和七寅年二月十一日御目
不經頭ニ相成 御目見□□□□□□□□□人
被仰付 □□□□□□□□□ 安永二午年
二月十八日 御目見之御用□□□□□□
御目見之□□□□ 御役□□□未年十二月

一 十一 御目見同年十二月十六日 御目付□□□□□
候 一ツ橋殿人 □□□□□□□□□□
申年十二月日之 御徒頭□□□人ハ御目
御膳中御用□□ 天明元丑年十二月十六日西丸
□□□□□□ 天明五巳年十二月十九日□□□
若年寄□□□□□ 同年十七日□□井伊□□□□
天明六午年十二月十一日 御目見□□ 御目見□□
□□□□□□□□□□□□□□ 寛政五丑年十二月十六日
一 若年寄御目見□□□□□□□□□□□□□□□
□年十月二日 □□□□□□□□□□□□

一　猪中務少輔　寛政元酉年十二月十九日家督　法

名主計　御勤仕候　法隆院殿御廟院殿

御小納戸御番入候而御小納戸頭取御徒

格之　寛政六寅年十月　御徒頭同月御

一統格ニ被仰付候而　御目付兼任　御書院

御番頭被仰付候而　御小姓組番頭　寛政八

辰年十一月十七日　御留守居年寄席

市谷御屋敷　小田原町御屋敷　御小納戸格之御

於町奉行勤番之者御役被仰付候　寛政九巳年八月十七

大御番頭御側衆御用人　被仰　御役　御側向寄被仰付候

一　大田備中守殿　御徒頭　寛政七卯年十二月十七

御使番之間御勤仕被仰付候而御勤仕候

御目付御役　御書院番ニ而御廊下番頭格

御使番御用之

義則

養女

母

同上

寛政十二申年六月十五日死

義詠

母

来往寺

同上

安永二巳年二月於一橋屋敷御人　君御　至

寛政六申年二月　御用屋敷人

光仲 吉之丞 以下不載

母 小沢氏女

妻 妻同上 沢長兵右衛門女

明暦元年三月十九日生江戸人宝永四年九月

赤坂 同見宝永六年十一年十二月八日御勘定

某

名某之介

母 同上

女

母 同上

宗厚 十六年

乗久

母 沢氏女

米之助

母 同上

女

母 同上

右之通相違無御座候

高弘信濃人 本国 武蔵 生国

内 石川十右衛門 同組 同組人 某 同組

市谷 本村 屋敷

寛政十一未年十二月

畢十左写

寛政異譜　田中十八家

千六百石余　一[illegible]

六百石余　銕次郎

五百俵　久[illegible]

四百石　[illegible]次郎

三百俵　[illegible]

二百五十俵　小普請　[illegible]

百四十一

二百十俵　[illegible]三郎

百五十俵　（[illegible]、[illegible]之助　後川）

現米六十石　新[illegible]

百五十俵　[illegible]

七十俵三口　小普請　[illegible]

五十俵三口　[illegible]

四十俵五口　[illegible]

三十俵二口　[illegible]

二十俵二口　山田、[illegible]

十五俵一口半　[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan